

第二部

住民意識調査

調査の概要

1 調査の設計

- (1) 調査地域 豊島区全域
- (2) 調査対象 豊島区内在住で0～17歳の子どもの保護者
豊島区内在住で9～17歳の子ども(以下、「子ども回答者」と呼びます。)
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から0歳から3歳きざみで各400名の調査対象の子どもを無作為抽出し、(2)- は保護者、(2)- は子ども回答者本人を標本としました。
- (4) 標本数 表1-1のとおり

表1-1 標本数

調査分類	子どもの年齢	回答者	調査票送付件数
A	0～2	保護者	400
B	3～5	保護者	400
C	6～8	保護者	400
D	9～11	保護者	400
		子ども	400
E	12～14	保護者	400
F		子ども	400
G	15～17	保護者	400
H		子ども	400
合計			3,600

- 注) A～Hは調査票の種類
) Dは保護者と子どもへの調査票を合冊して実施
) 年齢は平成14年4月1日現在の満年齢。

- (5) 調査期間 前期 0～8歳の子どもの保護者(調査票A～C)
平成14年5月
後期 9～17歳の子どもとその保護者(調査票D～H)
平成15年2月
- (6) 調査機関 豊島区子ども家庭部

2 調査方法

調査対象世帯の世帯主を名宛人として調査票を郵送し、郵送により回収しました。ただし、調査票の記入に際して保護者が念頭に置いていただく子どもの氏名を、世帯主名に併記して送付しました。また、子どもの調査票（F、H）は、別冊子ですが、返信用封筒と一緒に保護者用の調査票に同封して送付しました。

3 調査の実施結果

（1）調査分類別回収率等

保護者については、子どもの年齢の上昇と共に回収率が低下する傾向が見られます。子ども回答者（中学、高校生相当）の回収率は、保護者の回収率をさらに5～6ポイント下回っています。

標本数は母集団のほぼ1割で、調査分類ごとの大きな偏りはありませんが、回収率の影響で、対母集団比率は3～6.5%となっています。

表1-2 調査分類別回収率と母集団との関係

調査分類	子どもの年齢	回答者	回収件数 (b)	回収率(%) (c=b/400)	母集団数 (d)	回収件数/ 母集団数 (e=b/d)
A	0～2	保護者	259	64.8	4,069	6.4
B	3～5	保護者	256	64.0	3,920	6.5
C	6～8	保護者	237	59.3	3,691	6.4
D	9～11	保護者	207	51.8	3,827	5.4
		子ども	207	51.8	3,827	5.4
E	12～14	保護者	179	44.8	4,232	4.2
F		子ども	154	38.5	4,232	3.6
G	15～17	保護者	164	41.0	4,816	3.4
H		子ども	144	36.0	4,816	3.0
合計			1,807	50.2	37,430	4.8

（2）年齢別・地域別回収率等

保護者の調査票（1,302件）から、調査対象の子どもの年齢および居住地の分布が確認できます。

ア 年齢別の分布については、母集団、送付件数、回収件数およびそれらの関係比率で表1-2と同様の傾向を示しており、大きな偏りはありません。（表1-3）

イ 地域別の分布は、母集団との関係では大きな偏りは見られませんが、回収率f（回収件数/送付件数(%)）では43%（巣鴨地区）から73%（要町地区）までやや偏りが見られます。（表1-4）

表 1 - 3 年齢別回収率と母集団との関係

年齢	母集団 a	送付件数 b	回収件数 c	送付件数/ 母集団(%) d=b/a	回収件数/ 母集団(%) e=c/a	回収件数/ 送付件数(%) f=c/b
0歳	1,354	129	79	9.5	5.8	61.2
1歳	1,448	117	78	8.1	5.4	66.7
2歳	1,388	154	98	11.1	7.1	63.6
3歳	1,375	140	89	10.2	6.5	63.6
4歳	1,383	120	77	8.7	5.6	64.2
5歳	1,340	140	86	10.4	6.4	61.4
6歳	1,291	130	80	10.1	6.2	61.5
7歳	1,288	142	79	11.0	6.1	55.6
8歳	1,277	128	78	10.0	6.1	60.9
9歳	1,320	124	64	9.4	4.8	51.6
10歳	1,329	136	70	10.2	5.3	51.5
11歳	1,399	140	73	10.0	5.2	52.1
12歳	1,386	124	61	8.9	4.4	49.2
13歳	1,486	146	70	9.8	4.7	47.9
14歳	1,501	130	48	8.7	3.2	36.9
15歳	1,623	119	56	7.3	3.5	47.1
16歳	1,711	140	58	8.2	3.4	41.4
17歳	1,745	141	50	8.1	2.9	35.5
不明			8			
合計	25,644	2,400	1,302	9.4	5.1	54.3

表 1 - 4 地域別回収率と母集団との関係

地域	母集団 a	送付件数 b	回収件数 c	送付件数/ 母集団(%) d=b/a	回収件数/ 母集団(%) e=c/a	回収件数/ 送付件数(%) f=c/b
駒 込	1,907	185	90	9.7	4.7	48.6
巢 鴨	1,743	178	76	10.2	4.4	42.7
西 巢 鴨	1,102	93	49	8.4	4.4	52.7
北 大 塚	955	74	35	7.7	3.7	47.3
南 大 塚	1,343	113	65	8.4	4.8	57.5
上 池 袋	1,435	125	65	8.7	4.5	52.0
東 池 袋	1,250	134	67	10.7	5.4	50.0
南 池 袋	747	89	46	11.9	6.2	51.7
西 池 袋	1,336	131	70	9.8	5.2	53.4
池 袋	1,374	126	63	9.2	4.6	50.0
池袋本町	2,024	196	124	9.7	6.1	63.3
雑司が谷	903	68	40	7.5	4.4	58.8
高 田	915	80	41	8.7	4.5	51.3
目 白	1,346	126	56	9.4	4.2	44.4
南 長 崎	2,044	191	109	9.3	5.3	57.1
長 崎	1,885	210	114	11.1	6.0	54.3
千 早	1,250	99	58	7.9	4.6	58.6
要 町	842	73	53	8.7	6.3	72.6
高 松	769	64	37	8.3	4.8	57.8
千 川	474	45	25	9.5	5.3	55.6
不 明			19			
合 計	25,644	2,400	1,302	9.4	5.1	54.3

4 「前回調査」との関係について

豊島区では、平成7年度に「豊島区子育て需要調査」として、小学生までの子どもの保護者に対する意識調査を実施しています。この調査は、(株)富士総合研究所へ調査実務を委託し、立教大学社会福祉研究所の協力を得て調査報告がとりまとめられました。また、この調査の一環として、平成8年度に中学生を対象とした意識調査を青少年課(現子ども課)が主体となって実施し、調査報告を行っています。

今回の調査にあたっては、以上の調査の設問を基本にしつつ、実情に合わせて内容を修正し、施設等の利用に関する満足度についての調査項目を追加しました。

以降の報告の中では、適宜、これらの調査報告(以下、「前回調査」と呼びます。)との比較を行います。

結果の概要

1 基本属性

ここでは、保護者用の調査票から、調査対象の世帯構成等を中心に調査結果を取りまとめました。

(1) 回答者...大半が母親

保護者用調査票(1,302件)の記入者は、父135、母985、祖父母2、兄弟3、不明177で、75.7%は母親が回答しています。

前回調査との比較

前回調査(就学前子ども対象)もほぼ同様の結果(76.4%)で、回答者の大半は母親です。

(2) 家族の人数...平均4.25人

4人が最も多く41.5%(537件)を占めています。次いで5人が23.2%(300件)、3人が20.2%(261件)で、3人から5人までが全体の8割を占めています。全世帯平均では4.25人となっています。

前回調査との比較

子どもが0~11歳までの世帯での比較は表2-1のとおりで、世帯の少人数化の傾向がうかがえます。

表2-1 家族の人数比較(上段%、下段世帯数)

	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	合計
前回調査	1.4% 〔13〕	18.2% 〔168〕	41.9% 〔388〕	24.1% 〔223〕	9.5% 〔88〕	4.9% 〔45〕	100.0% 〔925〕
今回調査	3.3% 〔31〕	23.8% 〔225〕	41.2% 〔389〕	20.8% 〔196〕	6.5% 〔61〕	4.4% 〔42〕	100.0% 〔944〕

(3) 子どもの数...平均2.05人

世帯構成について回答のあった1,280件では、世帯あたりの子どもの数は、1人が24.8%(318件)、2人が50.1%(641件)、3人が21.4%(274件)となっており、3人までで全体の96%を占めています。世帯あたりの子どもの人数の平均は2.05人です。

(4) 家族形態...8割強が親と子のみの世帯

世帯構成について回答のあった1,280件では、祖父母と同居している三世帯家族は

15.4%(197件)で、大部分は親と子どもみの家族です。両親と子どもで構成されている家庭が75.4%(965件)、ひとり親家庭が9.2%(118件)となっています。

前回調査との比較

子どもが0～11歳までの世帯での比較は表2-2のとおりです。

表2-2 家族の人数比較(上段%、下段世帯数)

	三世代	両親と子ども	ひとり親	合計
前回調査	18.9% 〔175〕	74.1% 〔685〕	7.0% 〔65〕	100.0% 〔925〕
今回調査	13.9% 〔130〕	77.9% 〔730〕	8.2% 〔77〕	100.0% 〔937〕

(5) 父母の年齢・職業...父41.7歳の勤め人・自営業

母38.8歳の専業主婦・パートやアルバイト

父親の年齢は、1,154件で回答があり平均年齢は41.7歳でした。同様に、母親は1,230件の回答があり、平均年齢は38.8歳となっています。(父母の年齢分布は図2-1のとおり。)

父の職業はフルタイムの勤め人75.9%、自営業・家族従業・内職21.4%であり、この2つで97%を占めています。

一方、母は、専業主婦43.6%、パート・アルバイト23.3%、フルタイムの勤め人18.2%、自営業・家族従業・内職11.5%と多様です。(図2-2)

図2-1 父母の年齢分布

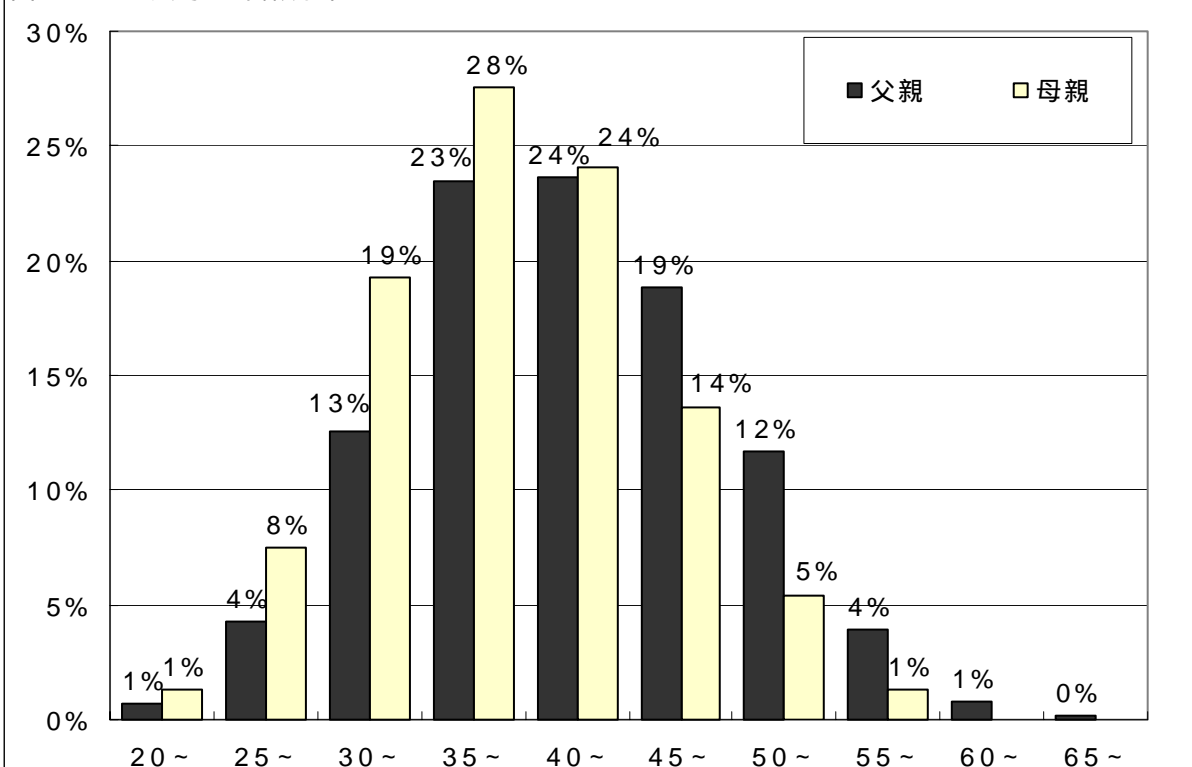
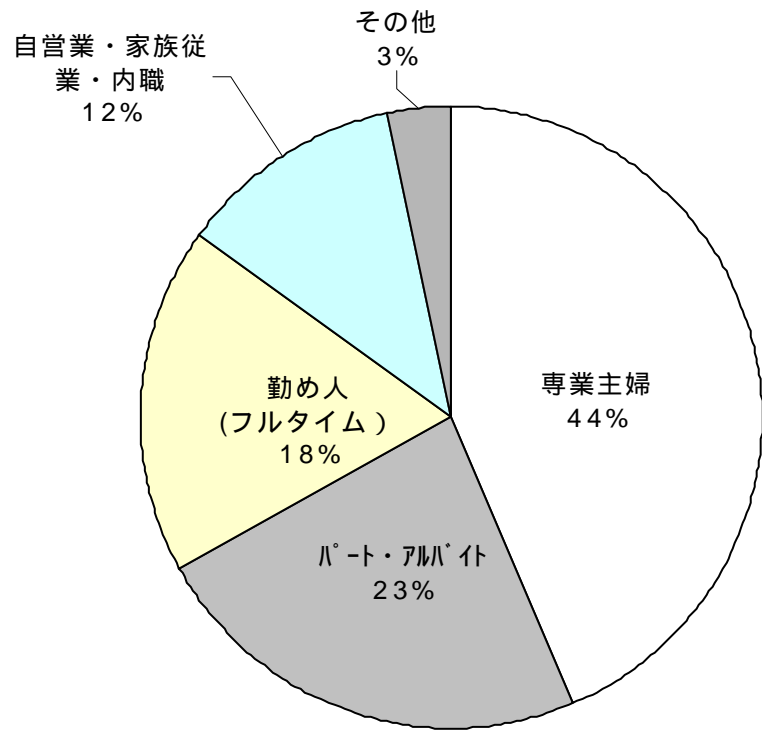


図 2 - 2 母の職業



2 保護者への調査項目

ここでは、主に保護者への調査票（1,302件）をもとに、保護者の子育てへの関わり等を取りまとめました。

（1）主たる保育者と子育てへの関わり

主に子どもの世話をしている保護者…母親

主に子どもの世話をしているのは母親で95.0%（1,237件）を占めており、父親は1.5%（20件）に過ぎません。

前回調査との比較

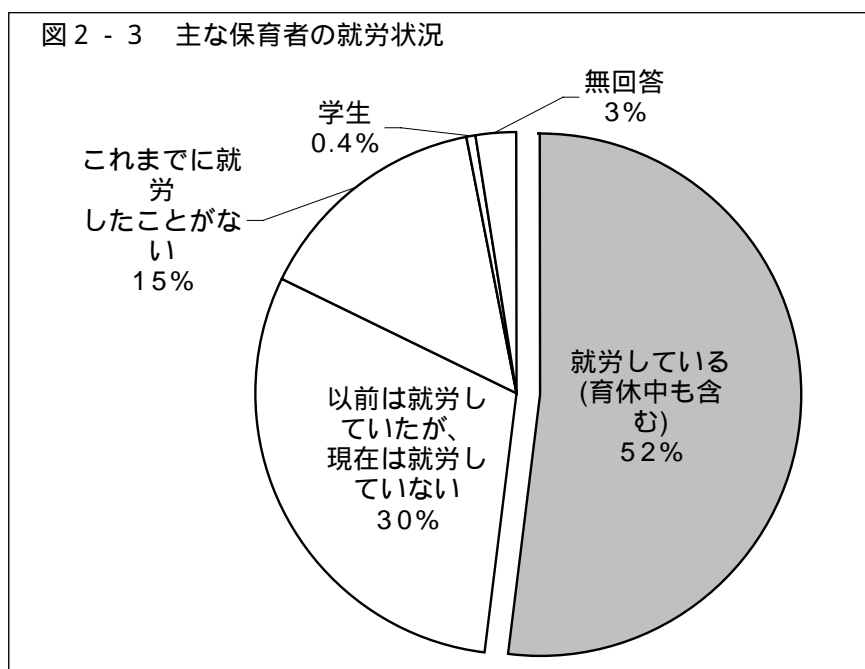
子どもが0～11歳までの世帯での比較は表2-3のとおりです。

表2-3 主に子どもの世話をしている人(上段%、下段世帯数)

	父	母	祖父母、 兄弟等	無回答	合計
前回調査	1.4% [13]	95.9% [888]	2.1% [19]	0.6% [6]	100.0% [926]
今回調査	1.1% [11]	95.1% [912]	1.5% [14]	2.3% [22]	100.0% [959]

就労状況…半数が就労

主に子どもの世話をしている保護者の52.1%（678名）が就労しています。（図2-3）これは、「図2-2 母の職業」における有職者とほぼ同様の値です。



前回調査との比較

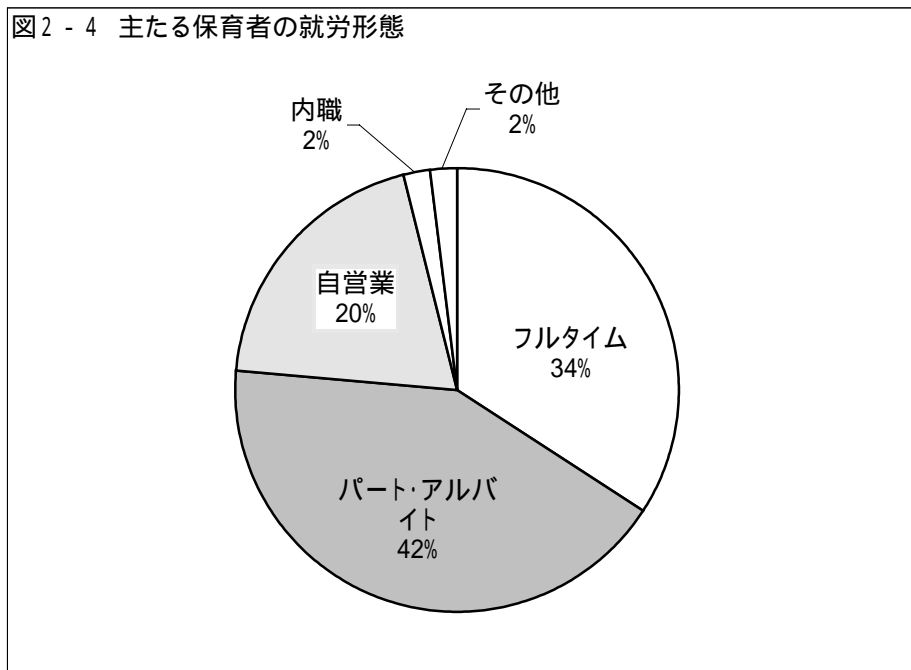
子どもが0～11歳までの世帯での比較は表2-4のとおりです。

表2-4 主に子どもの保育をしている人の就労状況

	就労している (育休中も含む)	以前は就労 していた が、 現在は就労 していない	これまでに 就労したこ とがない	学生	無回答	合計
前回調査	45.9% [414]	31.6% [285]	21.8% [196]	0.0% [0]	0.7% [6]	100.0% [901]
今回調査	46.7% [448]	33.8% [324]	16.1% [154]	0.5% [5]	2.9% [28]	100.0% [959]

就労形態...パート・アルバイトがもっとも多い

主たる保育者の就労形態はパート・アルバイトが42.3%(286名)で最も多く、次いでフルタイム34.0%(230名)、自営業19.5%(132名)となっています。(図2-4)



勤務日数...5日

週の勤務日数は、どの就労形態でも5日が最も多く51.0%(345名)となっていますが、フルタイムと自営業では週6日勤務、パート・アルバイトでは週4日勤務が多くなっています。

土日勤務...半数は土曜日に仕事

土曜日に勤務している人は46.9%(317名)となっており、その中でも月4日勤務のある人が40.7%を占めています。また、日曜日勤務も、いつもする6.7%(45名)、時々する29.1%(197名)の合計で35.1%(242名)となっており、土日勤務の割合はかなり高いと言えます。

通勤時間... 30分未満

15分未満が31.8%(215名)、15分以上30分未満が21.9%(148名)、在宅勤務で通勤時間がない11.8%(80名)で、30分未満が全体の65.5%(443名)を占めています。

主たる保育者の離職理由・就労希望...子育てのために仕事をやめた人が多いが、 6割は就労を希望

以前は仕事をしていたが現在は就労していない人(394名)が仕事を辞めた理由は、「自分で子どもの保育をした方が良かったから」が43.1%(170名)、次いで「家事や育児の負担が大きくなったから」が17.3%(68名)となっています。また、以前は仕事していたが現在は就労していない人(394名)とこれまで就労したことがない人(191名)の今後の就労予定は、「子育てがある程度落ちついたら働きたい」が46.3%(271名)と最も多く、次いで「いい仕事があれば働いてみたい」が14.2%(83名)、「働くつもりはない」が12.3%(72名)と続きます。このうち、「仕事を探している(求職活動中)」「働く意志はあるが、子どもの預け先がないので仕事をさがせない」「具体的に働く予定がある」と答えた85名の中では、パート・アルバイト希望者が62%(53名)と最も多くなっています。

(2) 近隣の親族...近隣に親族がいる人は半数

歩いて30分以下で行けるとところに親族がいる割合は47.5%(619名)となっていますが、5歳以下の子どもの保護者では42.7%とやや低めの値になっています。また、核家族やひとり親世帯に、近隣に親族がいない傾向があります。

(3) 子育て費用(習い事を含む)

事項別に1ヶ月の子育て費用を記入する設問で、金額の記入のあったものだけの平均値を計算すると表2-5の内容となりました。

(例)ベビーシッターは515名中18名の回答しかありませんが、月平均45,300円(年額換算543,600円)が支払われていることとなります。

表2-5 子育て費用

	子どもの年齢	対象者(名)	回答者数(名)	金額(千円)
認可保育所	0~5	515	151	23.3
認可外保育所	0~5	515	11	30.0
幼稚園	0~5	515	144	27.0
ベビーシッター	0~5	515	18	45.3
その他の保育サービス	0~5	515	10	4.1
学校	6~17	787	736	22.4
塾・習い事や塾	0~17	1,302	783	23.1
医療費	0~17	1,302	524	4.0
その他	0~17	1,302	840	21.6

3 保護者と子どもに共通の調査項目

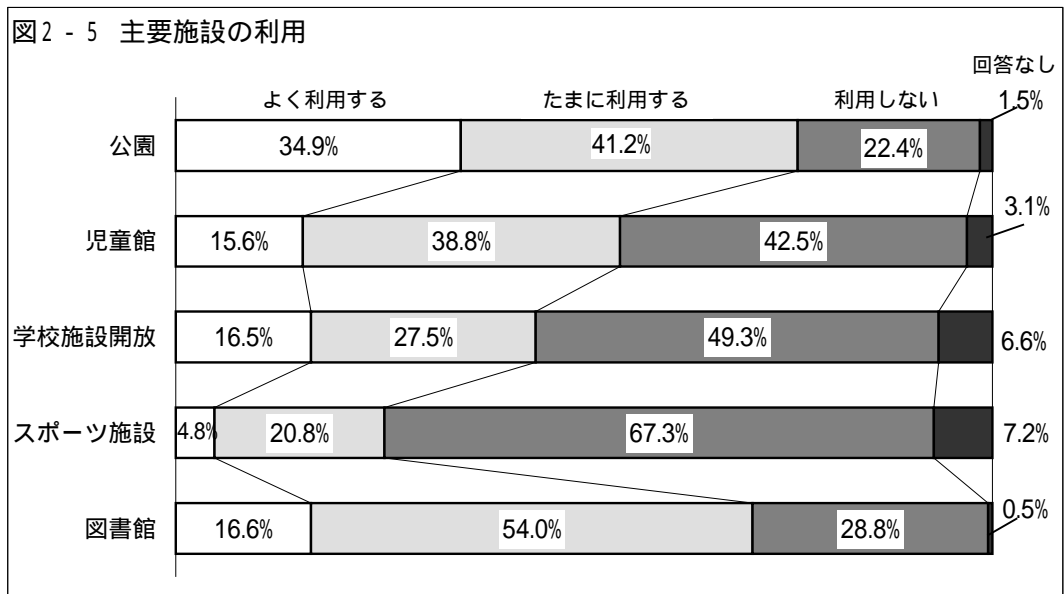
ここでは、複数の世代に共通する調査項目を中心にとりまとめました。

(1) 主要施設等の利用と満足度

主要な施設等の利用状況について調査しました。また、施設を「よく利用する」「たまに利用する」と回答した人には、利用の満足度についても質問をしました。なお、0～8歳については保護者、9～17歳は子ども本人の回答です。

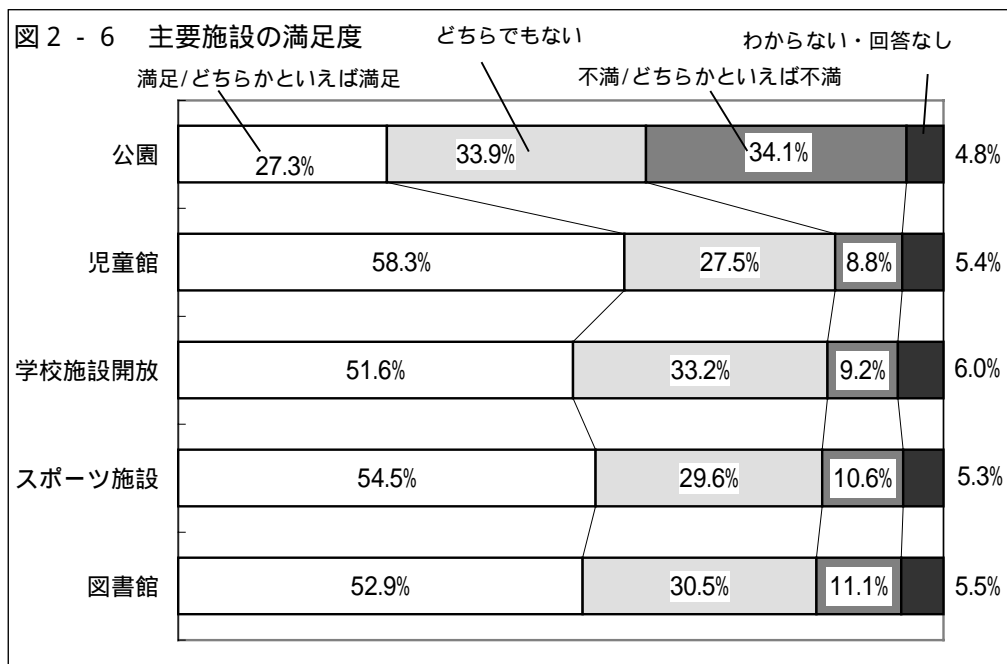
利用率...公園・図書館が利用されている

公園と図書館の利用率は7割を超えており、広く利用されている施設と言えます。



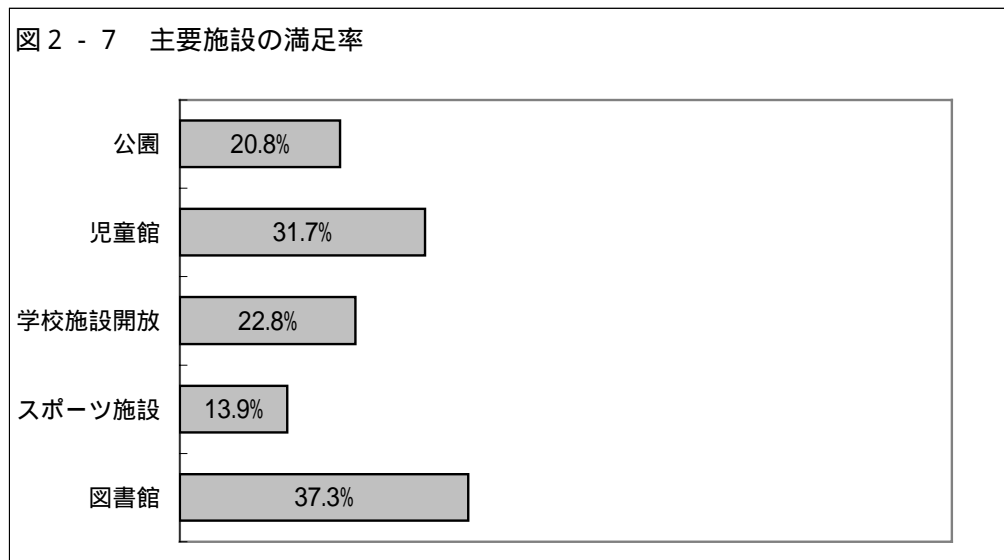
満足度...公園の満足度は低い

公園に対して、「満足/どちらかといえば満足」との回答は3割未満、「不満/どちらかといえば不満」は3割を超えています。



満足率...図書館の満足率が高い

図書館は満足率（＝利用率×満足度）が4割近く、広く支持されています。次いで児童館が3割程度となっています。



利用率・満足度・満足率と利用世代との関係

すべての世代にわたって満足度の高い施設はありませんが、以下の施設は特定の世代で満足率が4割を超え、比較的 support されていると考えられます。(図2-8-1~5)

児童館（6～8歳）

学校開放（6～11歳）

図書館（6～11歳）

5歳未満の図書館はデータなし

図2-8-1 公園

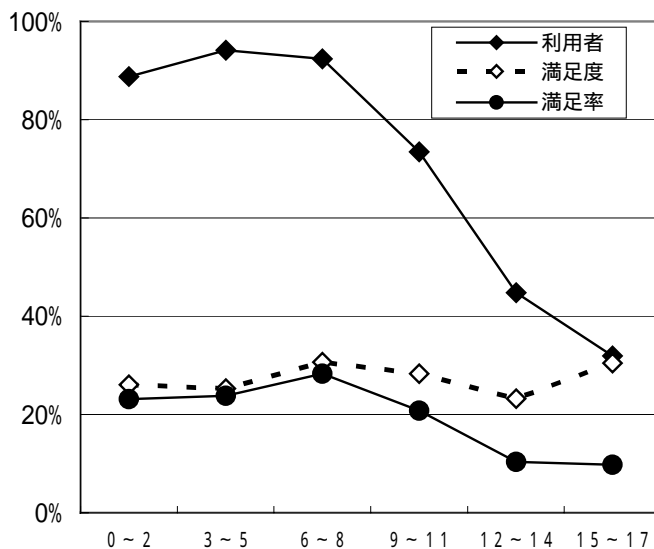


図2-8-2 児童館

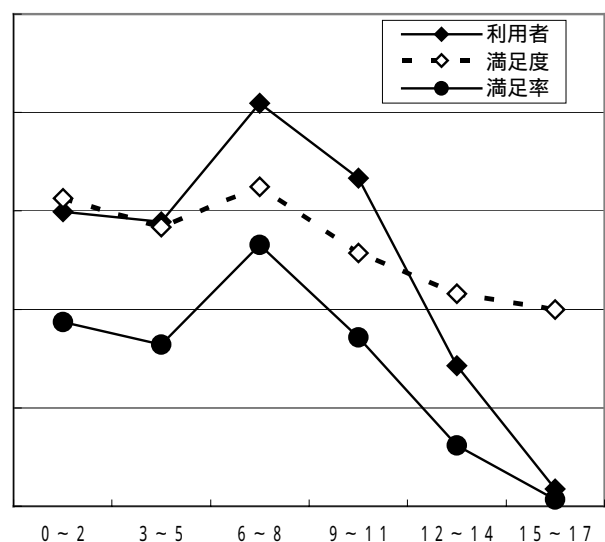


図 2 - 8 - 3 学校開放

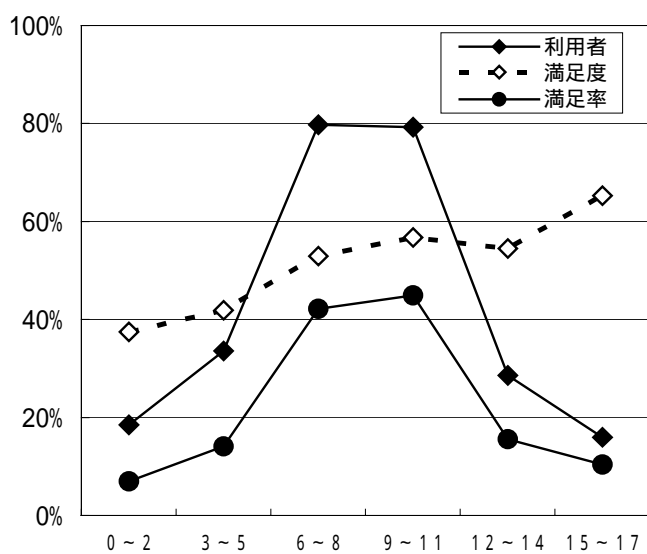


図 2 - 8 - 4 スポーツ施設

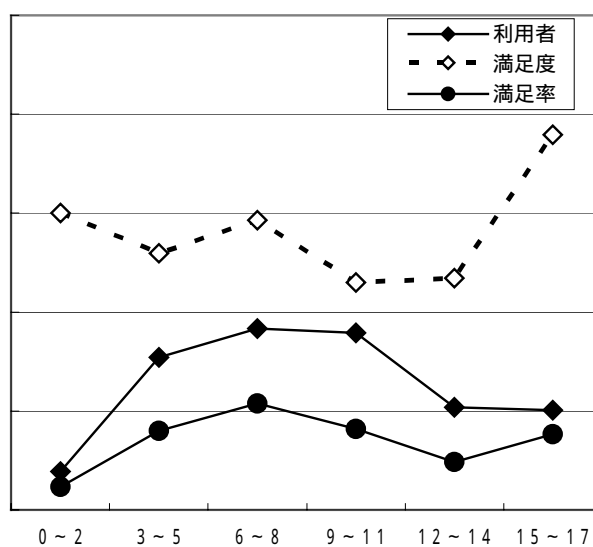
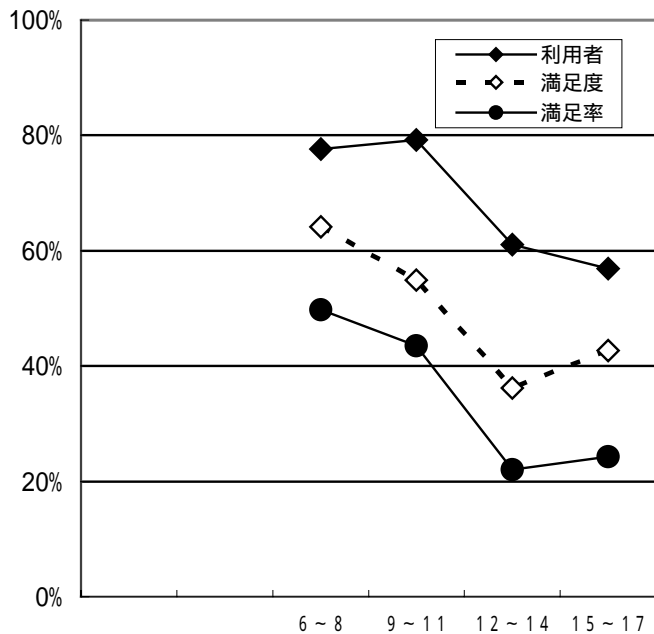


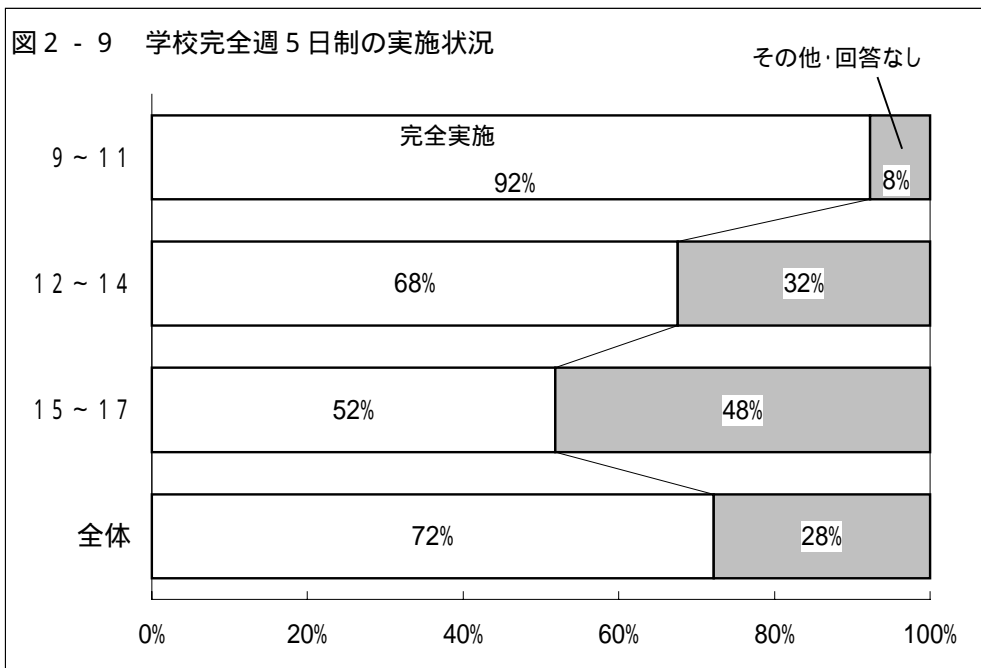
図 2 - 8 - 4 図書館



(2) 学校週5日制

実施状況...全体の7割

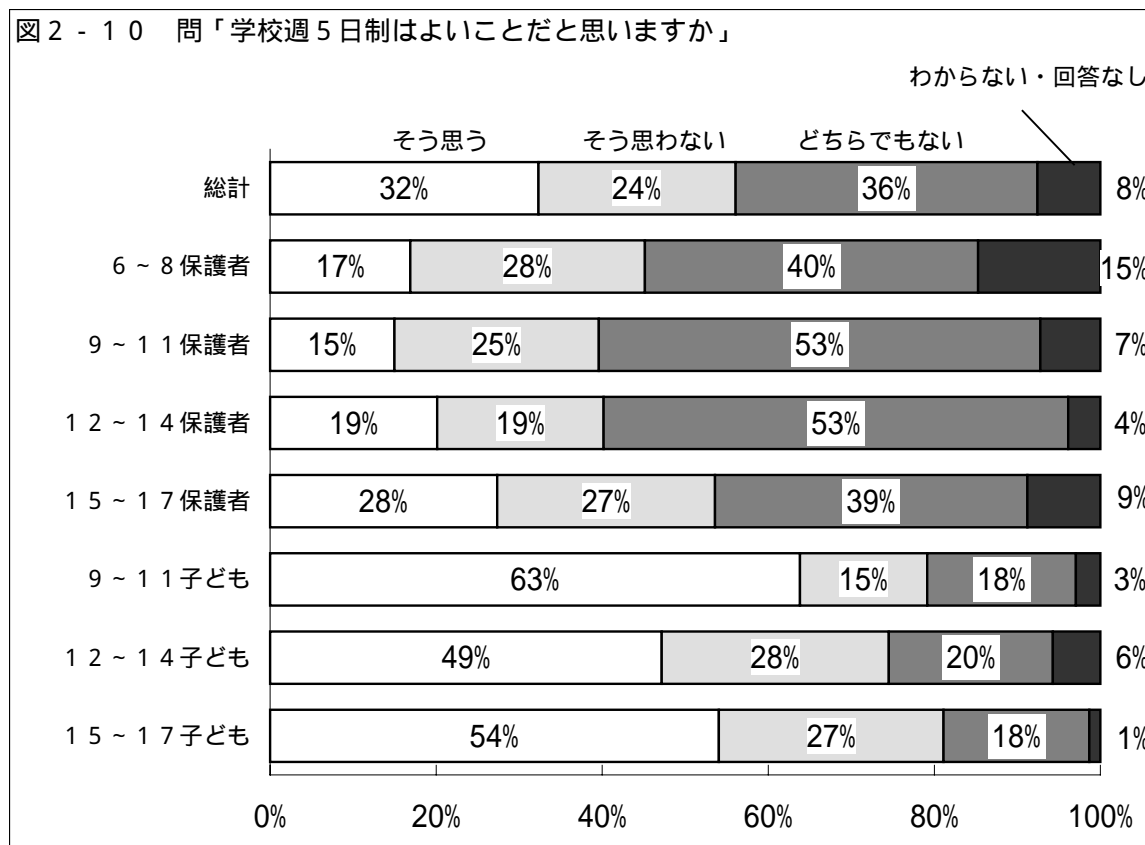
学校週5日制は、平成14年4月から公立小学校では完全実施されました。この調査では、学校完全週5日制は全体で7割にとどまっていますが、私立学校では完全実施が見送られているケースが多いことが影響していると考えられます。(図2-9)



評価...賛否相半ば

保護者の評価は、子どもの年齢が上がるにつれて肯定的になっていますが、否定的な意見がやや上回っています。

子どもの評価はおおむね肯定的ですが、否定的な意見も多く、中高生では3割程度に達しています。



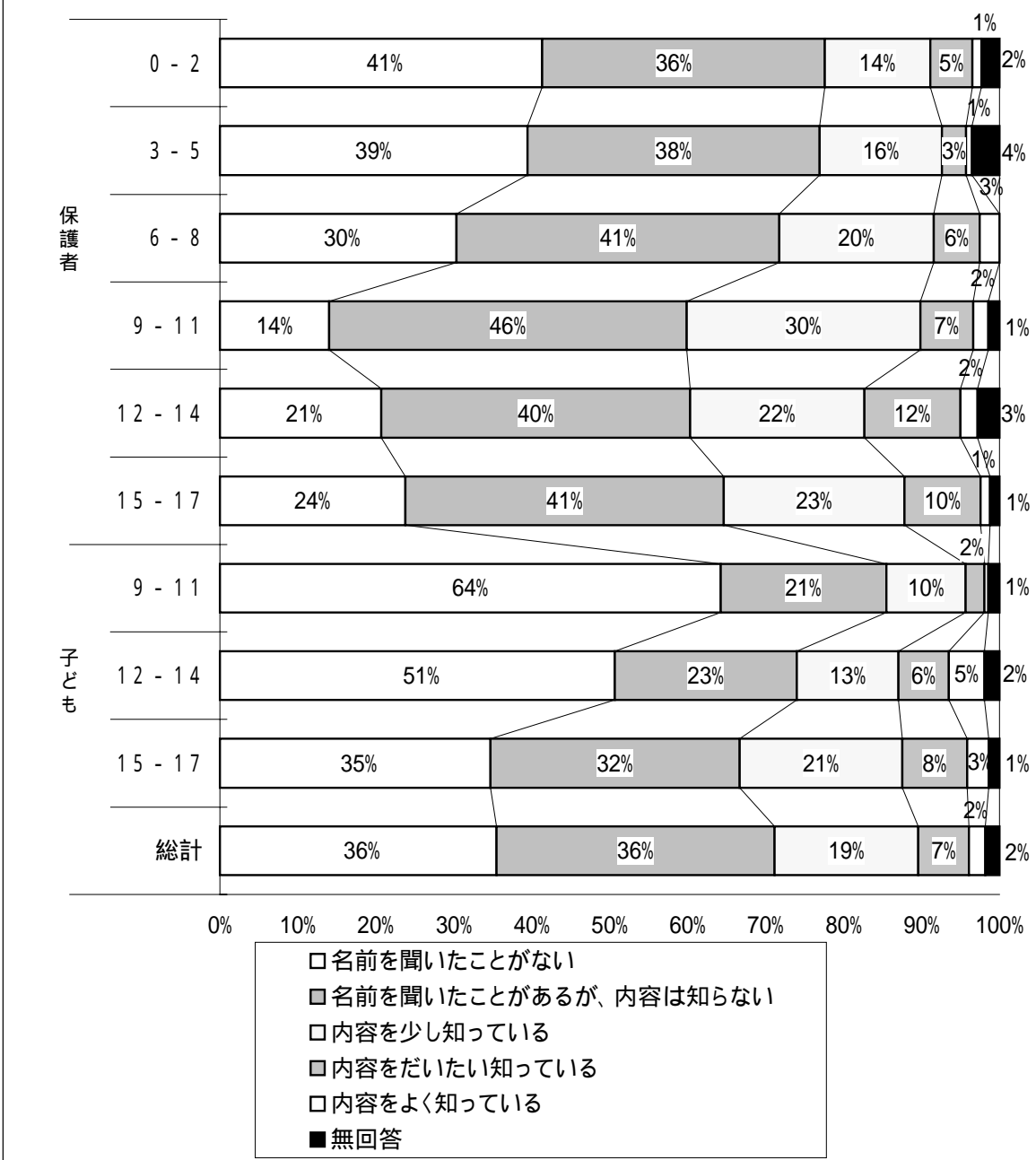
(3) 子どもの権利条約の認知度

日本が平成6年に批准した子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）の認知度に関する質問をしました。

全体として条約について内容まで知っている人は3割弱で、7割の人は名前を聞いたことがないか、聞いたことはあっても内容までは知らないと回答しています。

子どもの年齢とともに、保護者・子ども双方の認知度が高くなっている傾向が見られます。子どもの成長につれて、情報に接する機会が増えるためとも考えられますが、批准から10年が経過し条約が話題になる機会が少なくなってきたため、年齢の低い世代では情報に接する機会が減少しているためとも考えられます。

図2 - 1 1 子どもの権利条約の認知度



(4) 悩みと相談

悩みの内容（複数回答）

保護者の悩み

子育てに関する悩みは子どもの年齢とともに減少し、悩みが「特にない」人も増加する傾向がみられます。(表2-6)

表2-6 保護者の悩み 上段は回答者に対する%、下段()内は回答者数

悩みの種類	子どもの年齢					平均
	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	
遊ばせ方やしつけ	37% (97)	35% (89)	32% (76)	19% (40)	29% (52)	31% (354)
病気や発育	23% (60)	24% (62)	13% (30)	14% (28)	14% (25)	18% (205)
食事や栄養	23% (59)	15% (39)	10% (24)	8% (17)	8% (15)	14% (154)
情報の入手が困難	14% (36)	19% (48)	16% (38)	6% (13)	8% (14)	13% (149)
相談できるところがわからない	10% (25)	11% (27)	8% (19)	7% (14)	6% (10)	8% (95)
精神的な負担	11% (28)	12% (31)	6% (14)	6% (13)	4% (7)	8% (93)
その他	12% (32)	10% (25)	11% (25)	16% (33)	9% (16)	12% (131)
特にない	32% (82)	33% (84)	41% (97)	52% (108)	50% (90)	41% (461)
回答者総数	259	256	237	207	179	1,138

前回調査との比較

0～5歳までの保護者では、悩みを持つ人の割合がやや多くなっています。

表2-7 前回調査との比較

悩みの種類	前回	今回
	0～5	0～5
遊ばせ方やしつけ	34% (168)	36% (186)
病気や発育	15% (72)	24% (122)
食事や栄養	14% (67)	19% (98)
情報の入手が困難	10% (48)	16% (84)
相談できるところがわからない	7% (36)	10% (52)
精神的な負担	6% (30)	11% (59)
その他	10% (48)	11% (57)
特にない	39% (191)	32% (166)
回答者総数	492	515

子どもの悩み

上位を占める勉強（43％）、進学（43％）、お金（31％）の悩みが、年齢とともに多くなる傾向がみられます。

表2-8 子どもの悩み 上段は回答者に対する％、下段()内は回答者数

悩みの種類	12～14	15～17	平均
勉強のこと	40% (61)	47% (68)	43% (129)
進学のこと	37% (57)	49% (71)	43% (128)
お金のこと	23% (36)	38% (55)	31% (91)
友達との人間関係	21% (32)	15% (22)	18% (54)
異性のこと	6% (9)	9% (13)	7% (22)
家族のこと	6% (9)	8% (12)	7% (21)
その他	5% (7)	5% (7)	5% (14)
特にない	36% (55)	19% (28)	28% (83)
回答者総数	154	144	298

相談相手(複数回答)

実際に相談をしている人、場所を質問しました。

保護者の相談相手

親、配偶者、兄弟姉妹といった身内（83％）、職場の人（54％）が主な相談相手ですが、子どもの成長とともに減少する傾向がみられます。

表2-9 保護者の相談相手 上段は回答者に対する％、下段()内は回答者数
斜線部はデータなし

相談相手	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17	平均
身内	93% (242)	86% (219)	86% (203)	81% (168)	75% (134)	73% (119)	83% (1085)
職場の人	57% (148)	54% (137)	59% (140)	57% (119)	49% (88)	45% (73)	54% (705)
保育所・幼稚園	23% (60)	41% (105)	13% (30)	4% (9)			21% (204)
育児書	36% (94)	26% (67)	11% (26)	6% (12)			21% (199)
近所の人	25% (66)	25% (64)	24% (58)	13% (27)	16% (28)	11% (18)	20% (261)
医師	17% (44)	13% (33)	7% (17)	8% (16)	8% (15)		11% (125)
児童館職員	4% (10)	5% (14)	9% (21)	1% (2)	2% (3)	2% (4)	4% (54)
保健婦	10% (27)	4% (10)	1% (3)	0% (0)			4% (40)

子どもの年齢 相談相手	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17	平均
誰にも相談しない	1% (3)	2% (6)	2% (5)	4% (9)	7% (12)	10% (17)	4% (52)
カウンセラー	2% (6)	3% (8)	1% (2)	3% (6)	4% (7)	2% (4)	3% (33)
子ども家庭 支援センター	3% (8)	2% (5)	0% (1)	0% (1)	1% (1)		1% (16)
その他	6% (15)	5% (14)	5% (12)	11% (22)	4% (7)	4% (6)	6% (76)
回答者総数	259	256	237	207	179	164	1302

子どもの相談相手

親・兄弟姉妹といった身内（45%）、友だち（28%）が主な相談相手です。

表2-10 子どもの相談相手

上段は回答者に対する%、下段()内は回答者数
斜線部はデータなし

悩みの種類 年齢	12～14	15～17	平均
身内	42% (64)	49% (70)	45% (134)
友だち	62% (95)	57% (82)	28% (82)
誰にも相談しない 悩みはない	27% (41)	17% (24)	22% (65)
学校の先生	12% (18)	3% (5)	8% (23)
インターネット	1% (2)	3% (4)	2% (6)
児童館職員	4% (6)		4% (6)
カウンセラー	1% (1)		1% (1)
その他	4% (6)	3% (5)	4% (11)
職場		1% (2)	1% (2)
回答者総数	154	144	298

適当な相談場所

身近な場所で相談を受けられるとするならどこが適当かを質問しました。（実際に相談をしている場所ではありません。）

保護者

子どもの年齢により、保育園、児童館、学校などが適当な相談場所として選ばれています。

表2 - 1 1 適当な相談場所（保護者）

上段は回答者に対する%、下段()内は回答者数
斜線部はデータなし

子どもの年齢 相談場所	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17	平均
学校			49% (116)	46% (96)	35% (62)	32% (53)	42% (327)
児童館	43% (111)	39% (100)	22% (51)	24% (50)	21% (38)	9% (15)	28% (365)
保育園	25% (66)	33% (84)	2% (5)	1% (2)			16% (157)
子ども家庭支援センター	11% (28)	6% (16)	11% (25)	11% (22)	18% (32)	22% (36)	12% (159)
保健所	14% (36)	11% (28)	4% (10)	5% (10)	6% (10)	4% (6)	8% (100)
区役所・区民事務所	4% 10	4% 11	7% 17	5% 11	8% 15	16% 26	7% 90
その他	2% (6)	4% (10)	3% (8)	6% (12)	7% (12)	7% (12)	5% (60)
回答なし	1% (2)	3% (7)	2% (5)	2% (4)	6% (10)	10% (16)	3% (44)
回答者総数	259	256	237	207	179	164	1302

子ども

学校が4割を超え、他を大きく引き離しています。

表2 - 1 2 適当な相談場所（子ども）

上段は回答者に対する%、下段()内は回答者数

年齢 相談場所	12～14	15～17	平均
学校	44% (67)	43% (62)	43% (129)
子ども家庭支援センター	6% (9)	7% (10)	6% (19)
児童館	6% (9)	2% (3)	4% (12)
保健所	1% (1)	2% (3)	1% (4)
その他	9% (14)	9% (13)	9% (27)
必要ない	31% (48)	30% (43)	31% (91)
回答なし	4% (6)	7% (10)	5% (16)
回答者総数	154	144	298

保護者にとっての相談場所の条件(複数回答)

身近な地域で子育てに関する情報・相談の場ができた場合、どのような場となってほしいかを質問しました。

「その場で相談をしたり情報を得ることができる」(51%)、「保護者相互の情報交換の場」(38%)のほか、「子どもに遊びを教えたりしつけをしてくれる」(38%)、「電話で相談したり、情報を得ることができる」(33%)、「夜間や日曜日にも利用できる」(25%)場になってほしいとの回答が多くありました。

表2-13 相談場所の条件 上段は回答者に対する%、下段()内は回答者数
斜線部はデータなし

子どもの年齢 希望する場	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	平均
相談や情報取得の場	61% (159)	52% (134)	44% (104)	47% (98)	45% (81)	52% (86)	51% (662)
保護者の集いと 情報交換の場	55% (143)	40% (102)	36% (86)	36% (74)	32% (58)	21% (35)	38% (498)
遊びやしつけをする場	49% (127)	52% (132)	50% (118)	37% (77)	21% (37)	/	38% (491)
電話相談や情報取得	31% (79)	29% (75)	29% (68)	32% (67)	38% (68)	45% (74)	33% (431)
夜間・日曜に 利用可能な場	34% (87)	25% (63)	18% (43)	23% (47)	23% (41)	30% (49)	25% (330)
家庭訪問による相談 をしてくれる場	12% (31)	7% (18)	3% (8)	6% (13)	4% (7)	8% (13)	7% (90)
その他	2% (4)	1% (3)	4% (9)	3% (6)	4% (7)	2% (3)	2% (32)
回答者総数	259	256	237	207	179	164	1302

(5) 外出時に気になること

外出する際に気にかかる点をききました。0~11歳は保護者に、12~17歳は子どもに質問しています。(リストから3つまでを選択する方式)

「公園に不審者がいる等、安全面で不安がある」(62%)が最も多く、次いで「歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある」(48%)、以下「まちなみにゆとりとうるおいがない」(34%)、「雨の日に遊べる場所がない」(33%)との回答が多くありました。

表2-14 外出時に気になること 上段は回答者に対する%、下段()内は回答者数

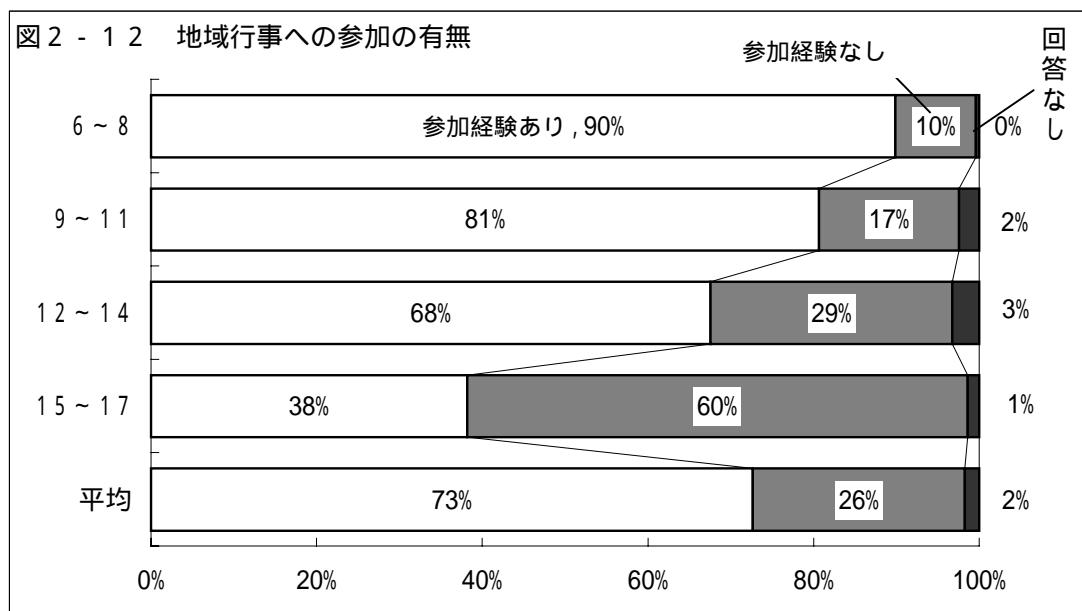
回答者の区分 気にかかる点	保護者				子ども		平均
	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	
公園に不審者がいる等不安	64% (165)	70% (180)	80% (190)	77% (159)	34% (52)	27% (39)	62% (785)
歩道がない通りが多く 交通事故が心配	51% (133)	62% (158)	65% (154)	48% (100)	22% (34)	15% (21)	48% (600)
まちなみに ゆとり・うるおいがない	32% (83)	29% (74)	28% (67)	35% (72)	46% (71)	42% (60)	34% (427)

気にかかる点	回答者の区分		保護者				子ども		平均
	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17			
雨の日に遊べる場所がない	29% (75)	35% (89)	35% (84)	35% (72)	38% (59)	28% (41)	33% (420)		
歩道の段差、陳列物、 自転車が通行のじゃま	35% (91)	24% (62)	23% (55)	17% (35)	27% (41)	30% (43)	26% (327)		
近所に公園がない	9% (24)	15% (38)	14% (33)	19% (39)	16% (25)	14% (20)	14% (179)		
街中に休める場所がない	12% (32)	7% (17)	3% (6)	5% (11)	12% (19)	14% (20)	8% (105)		
公園の遊具等が使いにくい	7% (19)	5% (14)	5% (13)	4% (9)	8% (12)	1% (2)	5% (69)		
その他	15% (40)	7% (19)	8% (20)	12% (24)	12% (18)	19% (28)	12% (149)		
回答者総数	259	256	237	207	154	144	1257		

(6) 地域行事への参加

参加の有無

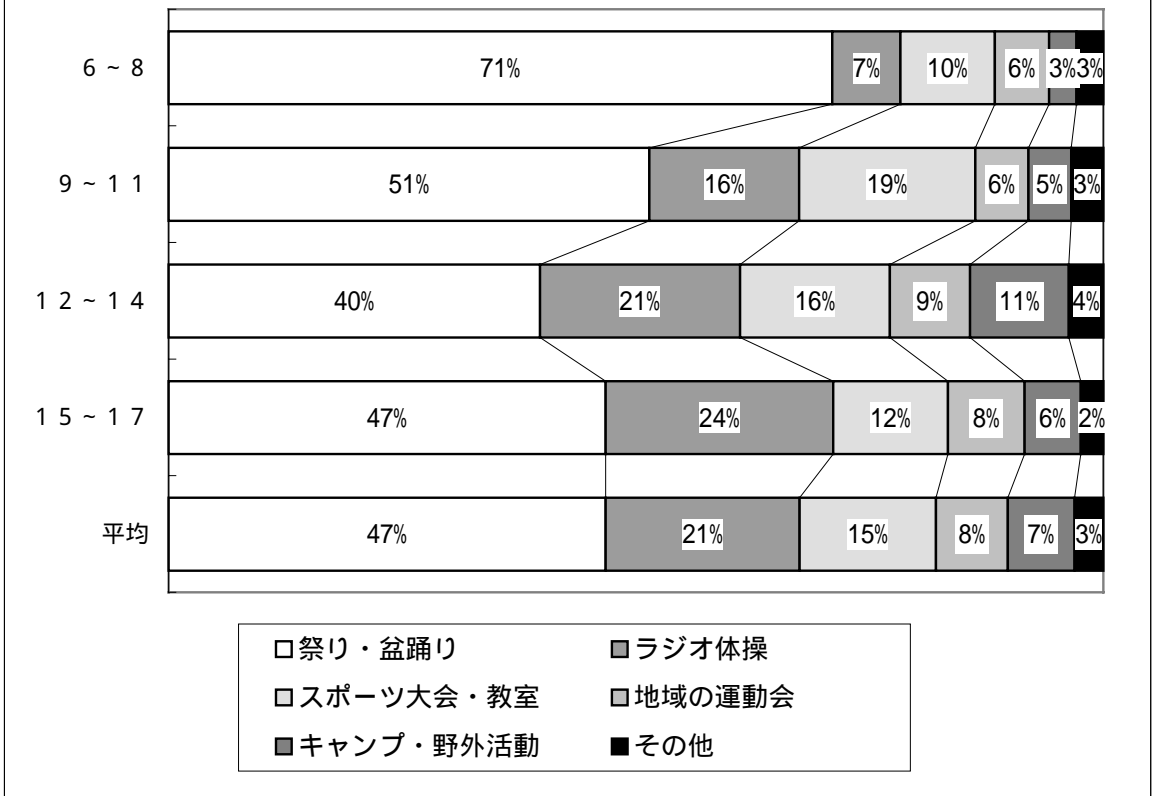
7割が地域行事に参加したことがありますが、年齢とともに参加率は減少しています。



参加の内容

「祭り、盆踊り」(47%)が半数を占め、次いで「ラジオ体操」(21%)、「スポーツ大会・教室」(15%)への参加で全体の8割を占めています。

図2 - 1 3 地域行事の参加内容



年代別事項

1 0～5歳

(1) 調査概要

調査対象

豊島区内に居住する0～5歳の子ども（平成8年4月2日～平成14年4月1日に出
生した者）の属する世帯に送付しました。

調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した800人（0～2歳400人、3～5歳400人）
の属する世帯の世帯主に対して、調査票を郵送しました。

回収率

対象人口の1割程度に調査票を送付し、6割強の方に回答をいただきました。

	人口	抽出数	回収数	回収率(%)
0～2歳	4,069	400	259	64.8
3～5歳	3,920	400	256	64.0
合計	7,989	800	515	64.4

前回調査は回収率71.2%

回答者

回答者の8割は母親でした。

	父	母	兄弟	不明
回答数	40	411	2	62
回答率(%)	7.8	79.8	0.4	12.0

(2) 家族の状況

子どもの年齢分布

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	不明
人数	79	78	98	89	77	86	8
割合(%)	15.5	15.3	19.0	17.1	14.9	16.7	1.6

家族の人数

4人が最も多く、3人から5人までで全体の9割を占めています。

全体の平均は3.9人です。

	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明
世帯数	14	169	212	83	18	12	2
割合(%)	2.7	32.8	41.2	16.2	3.5	2.3	0.4

家族構成

両親と子どもだけで構成される世帯が83.7%を占めています。前回調査に比べ、両親と子どもだけの世帯の割合が増加し、三世帯家庭の割合は減少しています。

		三世帯家庭	両親と子ども	ひとり親家庭
今回調査	世帯数	48	426	35
	%	9.4	83.7	7.0
前回調査	世帯数	80	376	35
	%	16.3	76.4	7.1

ひとり親で三世帯同居家庭はひとり親家庭に分類しています。

子どもの数

平均は1.8人です。

	1人	2人	3人以上
世帯数	198	229	88
%	38.4	44.5	17.2

世帯構成についての回答が無い場合は、子どもの数を1として集計しました。

父母の年齢

父の平均年齢は36.4歳です。

父の年齢	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳以上
世帯数	57	298	107	14
%	12.0	62.6	22.5	2.9

父親年齢に記入のあった476件を集計しました。

母の平均年齢は33.6歳です。

母の年齢	30歳未満	30歳代	40歳代
世帯数	103	347	47
%	20.7	70.0	9.5

母親年齢に記入のあった497件を集計しました。

近隣の親族

徒歩30分圏内に親族がいる家庭は42.7%(220人)でした。前回調査では47.0%(231人)でした。

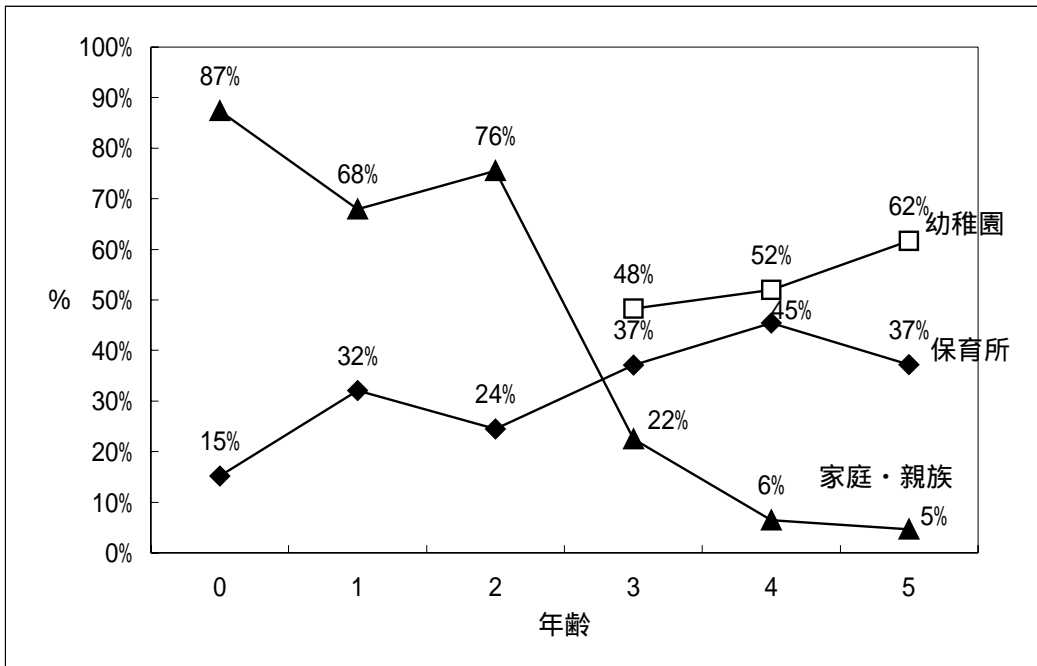
(3) 保育の状況

代表的な保育方法（下表左列1～8）から利用している保育の方法を全て選択いただいたため、回答515件に対し無回答15件を除いた500件の方の保育方法は延べ551件になりました。単独の保育方法による方は457件なので、11.3%(58件)の方は、複数の保育方法によりお子さんの世話をされています。

子どもの保育は、主に公私立の保育所、幼稚園、在宅により行われており、認可外保育施設、同居していない親族や知人、ベビーシッター、ホームヘルパー、ファミリー・サポート等により補完されていることがわかります。

保育方法	回答数	%	単独の保育方法	複数の保育方法							
				1 公立保育所	2 認可私立保育所	3 認可外保育施設	4 ファミリー・サポート	5 ベビーシッター ホームヘルパー	6 同居していない親族や知人	7 幼稚園	8 保護者や家族
1. 公立保育所	140	25.2	125		2	5	1		8		1
2. 認可私立保育所	23	4.6	20	2					1		
3. 認可外保育施設	12	2.2	4	5				1	4		2
4. ファミリー・サポート	4	0.7	1	1				1	1		2
5. ベビーシッター・ホームヘルパー	7	1.3	1			1	1		1	2	3
6. 同居していない親族や知人	25	4.4	4	8	1	4	1	1		2	9
7. 幼稚園	140	25.4	126					2	2		10
8. 保護者や家族がみている	200	36.6	176	1		2	2	3	9	10	
合計	551		457	17	3	12	5	8	26	14	27

0～2歳では家庭内・親族による在宅保育が中心ですが、子どもの年齢が大きくなるにつれて、保育所・幼稚園などの施設での保育の割合が高まっていきます。



保育所（163件）

平日の利用

利用開始時間は「8時～9時」の1時間に全体の88.2%（142件）が集中していますが、終了時間は5時台の40.3%（64人）を中心に4時から6時までの2時間で82.0%（132人）とばらつきがあります。

平均利用時間は8時間26分（公立8時間21分、私立9時間26分）です。

土曜日の利用

土曜日利用（161件）の内訳は下表の通りです。

	人数	%
1.通っている	39	24.2
2.時々通っている	16	10.0
3.通っていない	103	64.0
回答なし	3	1.9
合計	161	

毎土曜日に通っている39人の平均利用時間は7時間27分（公立7時間27分、私立9時間27分）です。

時々通っている16人の月の利用回数は1回8人、2回6人、3回2人で、平均利用時間は7時間35分（公立7時間21分、私立9時間30分）です。

保育時間の延長の希望

保育時間の延長を希望している人は、161人中50人（31.1%）です。

希望する保育時間の平均は11時間6分（公立10時間34分、私立12時間19分）となっており、現実の保育時間よりも2時間以上長くなっています。

病気への対応

子どもの病気のために保育所を休まなければならなかった日数は下表のとおりです。161件中148件で休まなければならなかった日がありますが、年間20日までで全体の80%(118件)を占めています。

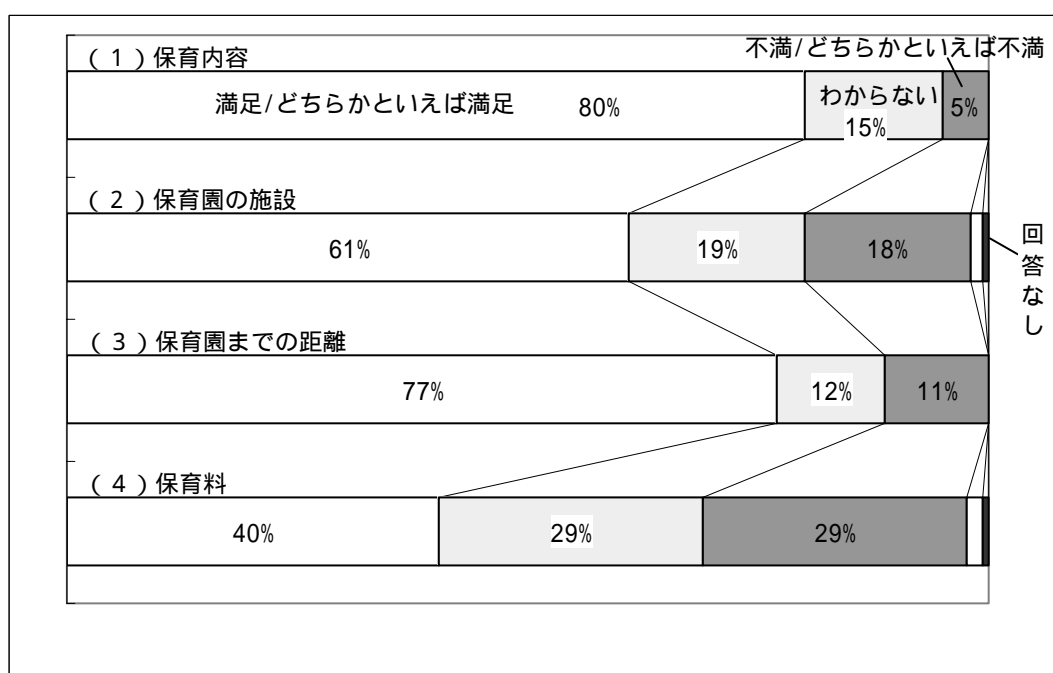
なお、休まなければならなかった日数の平均は15.3日(公立16.2日、私立10.2日)です。

休んだ日数	～10日	～20日	～30日	30日以上	なし
件数	80	38	15	15	13
%	54%	26%	10%	10%	

病気になった時の対応は、「父親または母親が仕事を休む」が78%(125件)、次いで「親族・知人に見てもらおう」が17%(27件)です。「親族・知人に見てもらおう」のは「どちらかといえば気軽に見てくれる」が85%(23件)となっているものの、「父親または母親が仕事を休む」のは「どちらかといえば容易である」のは52%(65件)にとどまっています。

満足度

主要項目についての満足度は下図のとおりでした。



認可外保育施設(12件)

認可外保育施設の利用は12件でした。内訳は認証保育所4、保育室4、勤務先の保育室2、その他1(インターナショナルスクール幼稚部)、回答なし1です。所在地は区内9、区外2、回答なし1となっています。

ファミリー・サポート、ホームヘルパー(11件)

ファミリー・サポートは4人、ベビーシッターは7人の回答でした。両者とも各1件を除き、家庭での保育や他の保育サービスと併用されています。

同居していない親族・知人による保育（25件）

「平日」「時々」見てもらう形態が最も多く、平均日数は月7.7日です。

	毎日	時々	見てもらっていない	回答なし
平日	24% (6)	64% (16)	4% (1)	8% (2)
土曜日	8% (2)	20% (5)	64% (16)	8% (2)
日曜日	8% (2)	20% (5)	64% (16)	8% (2)

幼稚園（140件）

全体の25.4%（140人）が幼稚園に通っていますが、3歳以上の利用率は高く、5歳児では61.6%（53人）にのびります。

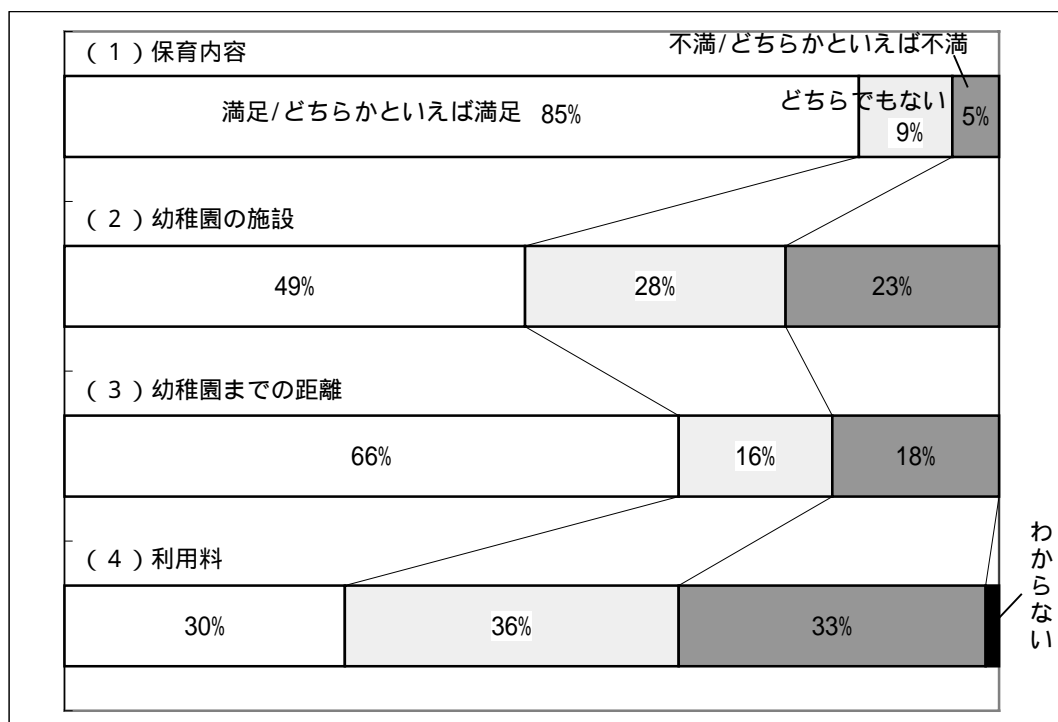
利用時間は9時から14時が多く、平均利用時間は4時間35分でした。

幼稚園に通っている理由は「はじめから幼稚園に入れようと思っていたから」が89.3%（125人）を占めています。次いで「保育園に入れたかったが、入園できる条件に合わなかったから」が8.6%（12人）、「保育園に申し込んだが、空きがなかったから」が2.1%（3人）となっています。

幼稚園の開園時間の希望は「今のままでよい」56.4%（79人）に対し、「もっと長く見てもらいたい」43.6%（61人）と2分されています。希望する利用時間の平均は6時間26分で、実際の利用時間より2時間長くなっています。

満足度

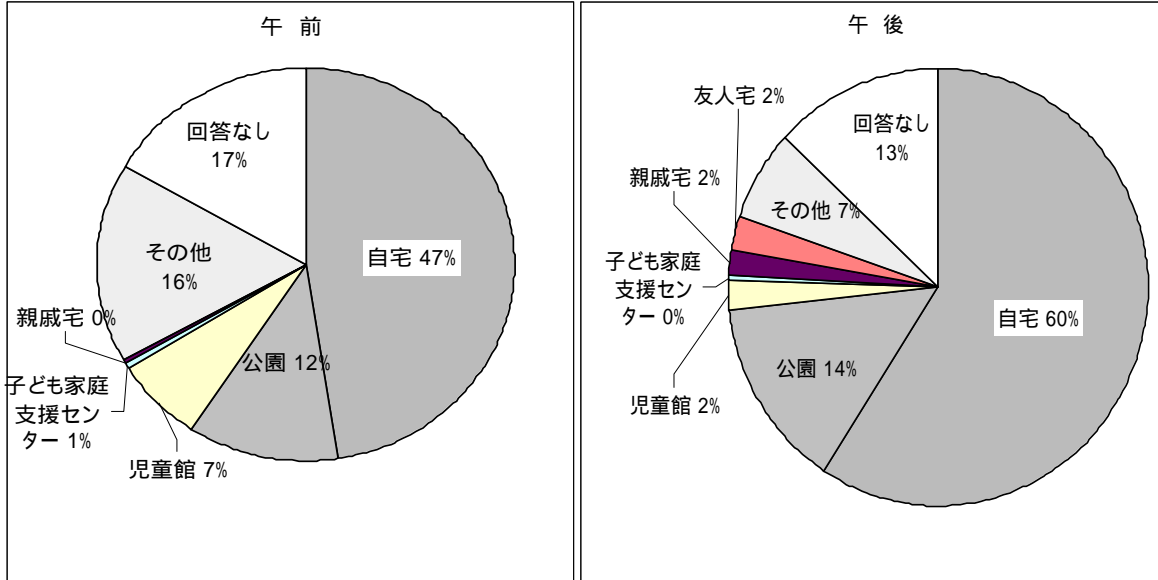
幼稚園の主要項目についての満足度は下図のとおりでした。



在宅保育等（330件）

（家庭内保育または子どもが幼稚園に通っている保護者に質問しています。）

日常的に子どもと過ごす場所としては、自宅（午前47%、午後60%）が最も多く、次いで公園（午前12%、午後14%）があげられています。なお、午前中の児童館（7%）も利用されています。



過去1年間に、ふだん家庭で子どもを保育している保護者が、急な用事や外出のために子どもの保育ができなくなったことがあった家庭は45.5%(150件)で、平均日数は1年間で10.6日でした。

保育できなくなった理由は、「保育をされている方の病気、けが」64.0%(96件)「冠婚葬祭」22.7%(34件)「妊娠・出産」15.3%(23件)などですが、「家族」64.0%(96件)「近所の人・知人」22.7%(34件)に見てもらうほか、「保育園の緊急一時保育等の区の制度」15.3%(23件)の利用によって対処されています。

（4）子育て環境

夜間の保育

過去1年間で、保護者が夜間（午後8時以降）子どもの世話をできなかったことがあった家庭は41.9%(216件)ありました。理由別の割合と平均日数は以下のとおりです。

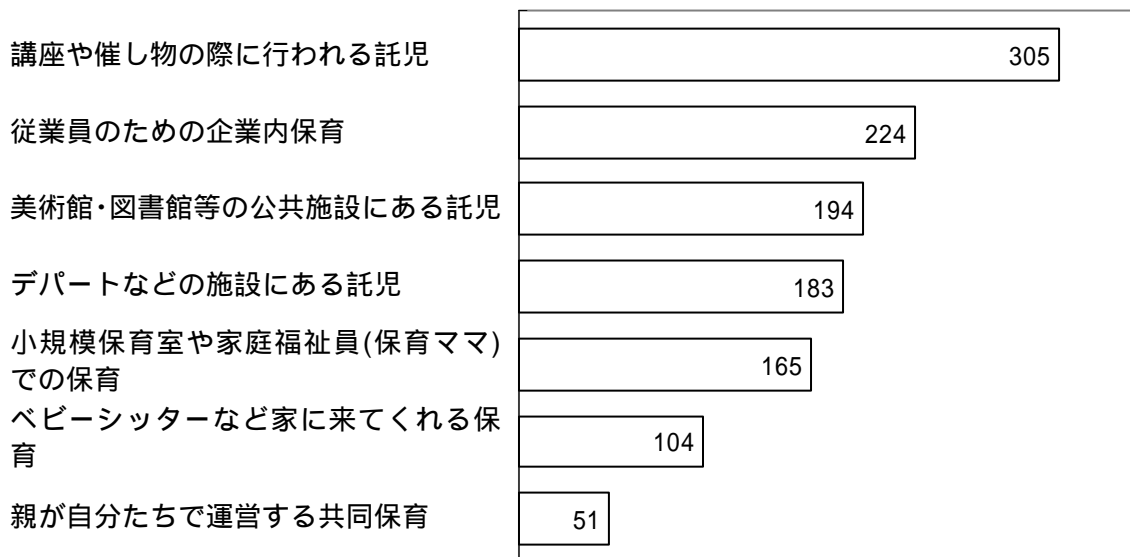
世話をできなかった理由	%	(件数)	平均日数 (年間)
身体の具合が悪く入院した	7%	(36)	9.8
身体の具合が悪く寝込んだ	27%	(141)	6.1
仕事で家を空けた	10%	(50)	19.3
旅行で家を空けた	1%	(6)	19
冠婚葬祭で家を空けた	8%	(41)	1.9

世話をできなかった場合の対処方法は、「別居の親族に頼んだ」39.8%(86件)、「自分や配偶者などが仕事を休んだ」19.9%(43件)、「同居の家族・親族に頼んだ」15.3%(33件)など、家族・親族の力を借りているものがほとんどです。

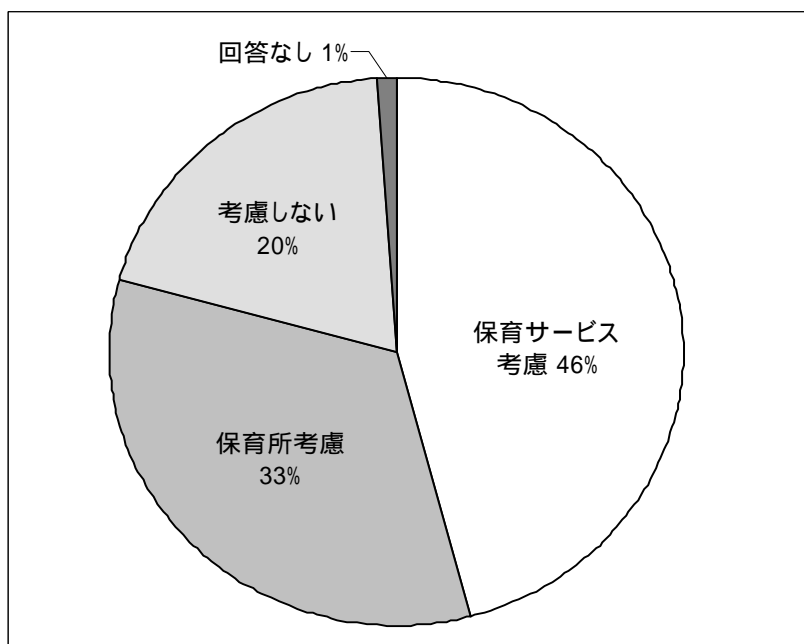
保育サービス

保育サービスを利用する場合の望ましい立地条件への回答は、「自宅の近く」が88.2%(454件)と大多数を占め、「通勤の最寄り駅近く」「勤務先の近く」を望ましいとする意見はそれぞれ3~4%にとどまっています。

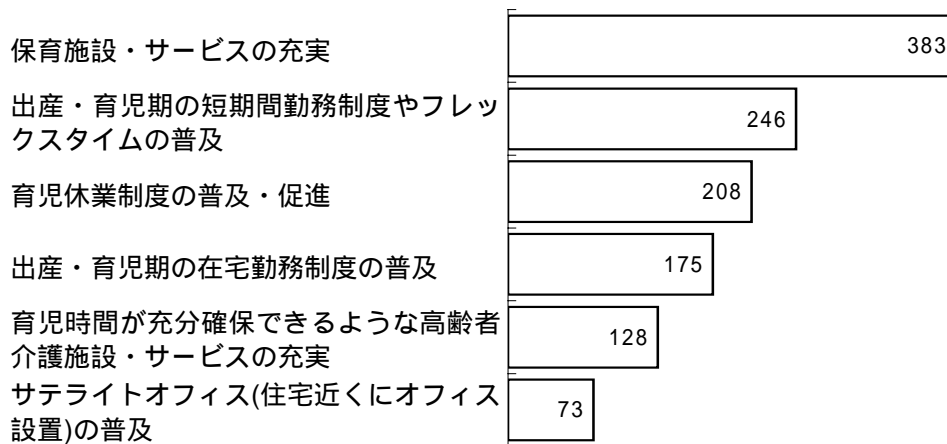
社会参加や豊かな生活を実現するために、現在保育所で行われている以外の保育サービスで有効と思われるものを具体例の中から選択する質問をしました。(3つまでを複数回答)



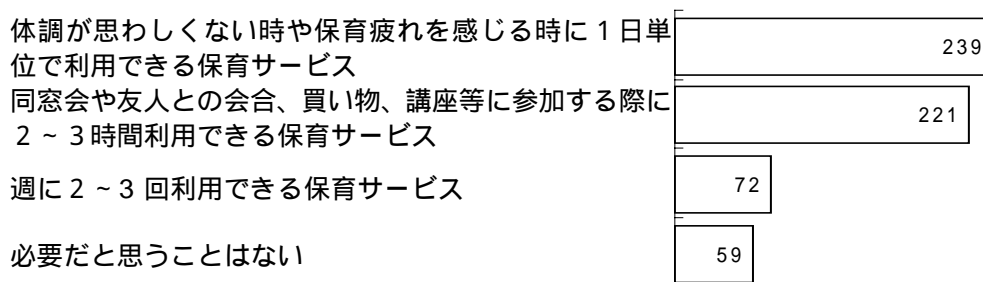
今後住み替えを考える際には、「保育所にこだわらず、充実した保育サービスが受けられる環境かどうかを考慮する」との答えが最も多く46%(236件)、次いで「保育サービスの充実した保育所が近くにあるか、または併設されているかを考慮する」が33%(171件)、「保育サービスの充実は考慮しない」20%(102件)でした。



保育サービスに限らず、社会参加や豊かな生活を実現するために、有効と思われるものを具体例の中から選択する質問をしました。(3つまでを複数回答)

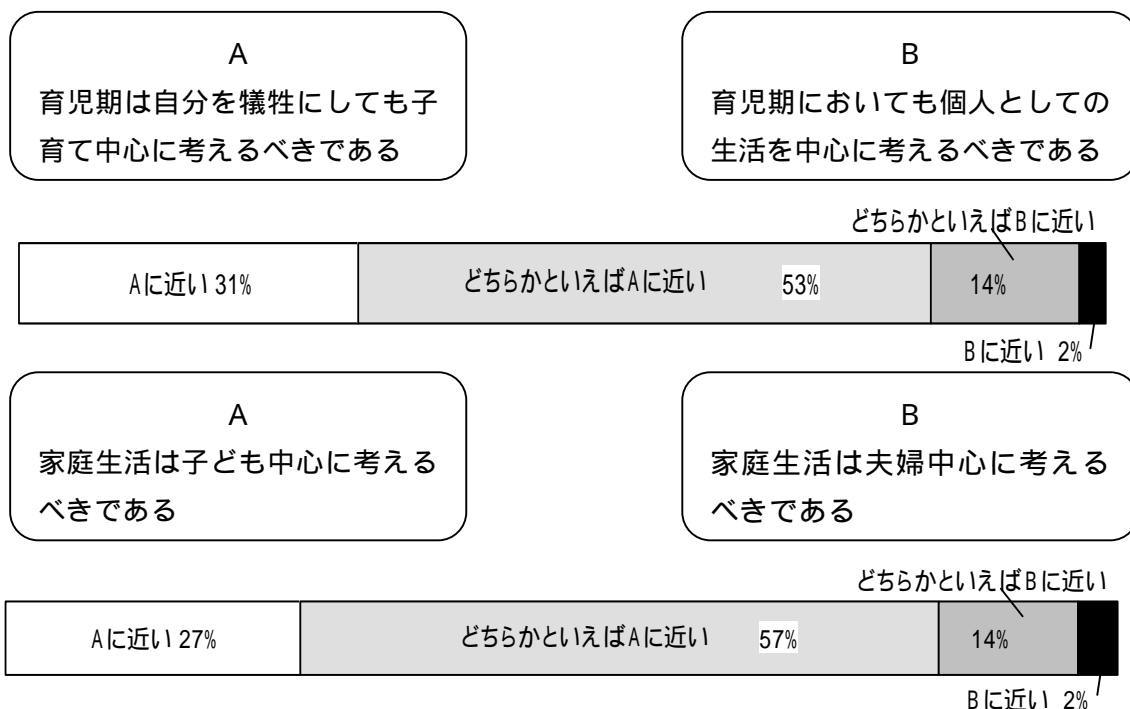


有料であっても保育サービスを利用できれば便利だと思う場合と内容をたずねました。



子育ての価値観と社会参加

子育ての価値観について、相対立する見解のいずれが自分の考えに近いかを聞きました。子育て・子ども中心の生活を支持する意見が多数を占めました。



以下のような活動についての実情や意見を求めましたが、全般的に子育てのために活動の機会が狭められている傾向があります。

	することがある	したいと思うが、子どもがいるので難しい	したいと思うがその他の理由で難しい	特にしたいとは思わない	回答なし
1. レストランなどで食事を楽しむ	73.2% (377)	19.0% (98)	3.7% (19)	2.9% (15)	1.2% (6)
2. デパート等にショッピングに行く	75.9% (391)	17.5% (90)	2.7% (14)	3.1% (16)	0.8% (4)
3. 映画・コンサート等に行く	21.7% (112)	59.8% (308)	6.6% (34)	11.1% (57)	0.8% (4)
4. 友人と外で会う	51.7% (266)	39.2% (202)	6.0% (31)	2.3% (12)	0.8% (4)
5. スキー・テニス・ゴルフ場に行く	11.7% (60)	40.2% (207)	9.1% (47)	37.9% (195)	1.2% (6)
6. 日帰り旅行に行く	46.6% (240)	25.4% (131)	14.8% (76)	11.5% (59)	1.7% (9)
7. 泊りがけで旅行に行く	54.8% (282)	23.7% (122)	15.7% (81)	4.7% (24)	1.2% (6)
8. 美術館・博物館・図書館等に行く	40.2% (207)	31.8% (164)	4.7% (24)	22.1% (114)	1.2% (6)
9. カルチャーセンター等で習い事をする	8.0% (41)	49.7% (256)	14.8% (76)	25.8% (133)	1.7% (9)
10. ボランティア活動をする	3.7% (19)	29.5% (152)	13.8% (71)	50.9% (262)	2.1% (11)
11. 仕事に就く	33.8% (174)	38.1% (196)	6.0% (31)	16.5% (85)	5.6% (29)

2 6～11歳

(1) 調査概要

調査対象

豊島区内に居住する6～11歳の子ども(平成2年4月2日～平成8年4月1日に出生した者)の属する世帯を調査対象としました。

調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した800人(6～8歳400人、9～11歳400人)の属する世帯の世帯主に対して、調査票を郵送しました。

回収率

対象人口の1割程度に調査票を送付し、5割強の方に回答をいただきました。

	人口	抽出数	回収数	回収率(%)
6～8歳	3,691	400	237	59.3
9～11歳	3,827	400	207	51.8
合計	7,518	800	444	55.5

前回調査は回収率53.6%

回答者

回答者の8割弱は母親でした。

	父	母	祖父	不明
回答数	37	339	1	67
回答率(%)	8.5	76.4	0.2	15.1

(2) 家族の状況

子どもの年齢分布

年齢	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
人数	80	79	78	64	70	73
割合(%)	18.0	17.8	17.6	14.4	15.8	16.4

家族の人数

4人が最も多く、3人から5人までで全体の8割を占めています。
平均は4.4人です。

	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明
世帯数	11	64	185	111	40	26	7
割合(%)	2.4	14.4	41.7	25.0	9.0	5.9	1.6

家族構成

		三世代家庭	両親と子ども	ひとり親家庭
今回調査	世帯数	82	312	41
	%	18.9	71.7	9.4
前回調査	世帯数	95	309	30
	%	21.9	71.2	6.9

ひとり親で三世代同居家庭はひとり親家庭に分類しています。

子どもの数

平均は2.17人です。

	1人	2人	3人	4人以上
世帯数	81	233	109	21
%	18.2	52.4	24.5	4.7

世帯構成についての回答が無い場合は、子どもの数を1として集計しました。

父母の年齢

父の平均年齢は42.7歳です。

父の年齢	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳以上
世帯数	1	116	226	49
%	0.3	29.6	57.7	12.5

父親年齢に記入のあった392件を集計しました。

母の平均年齢は39.4歳です。

母の年齢	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代
世帯数	7	216	192	12
%	1.6	50.6	45.0	2.8

母親年齢に記入のあった427件を集計しました。

近隣の親族

徒歩30分圏内に親族がいる家庭は53.4%(237人)でした。前回調査では49.5%(215人)でした。

(3) 子どもの生活実態

平日、土曜日、日曜日の別に、時間帯別ごとにどのように過ごしていたかを質問しました。

平日の放課後

高学年では13～15時 学校

15～17時 同居の大人と一緒に、子どもだけ、学校、学習塾や習い事

17時以降 同居の大人と一緒に、学習塾や習い事

低学年では13～15時 学校、同居の大人と一緒に、学童クラブ

15～17時 学童クラブ、同居の大人と一緒に、学習塾や習い事、児童館等公共施設、子どもだけ

17～19時 同居の大人と一緒に、学習塾や習い事

19時以降 同居の大人と一緒に

が主な過ごし方です。平日の生活は、学校、家庭、学習塾や習い事を中心にして、児童館・学童クラブ、友だちとの遊び等によって過ごされています。

なお、高学年の13時～15時の「学校」と17時～19時の「学習塾や習い事」は前回調査と10ポイント程度の変動がありました。

金曜日		13時～15時		15時～17時		17時～19時		19時以降	
		高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年
1	学校	192 92.8%	151 63.7%	35 16.9%	4 1.7%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2	学童クラブ	0 0.0%	24 10.1%	0 0.0%	49 20.7%	0 0.0%	4 1.7%	0 0.0%	2 0.8%
3	学習塾や 習い事	0 0.0%	3 1.3%	22 10.6%	42 17.7%	61 29.5%	28 11.8%	22 10.6%	5 2.1%
4	同居の大人 と一緒に	5 2.4%	25 10.5%	45 21.7%	45 19.0%	117 56.5%	164 69.2%	167 80.7%	206 86.9%
5	別居の親族 や知人と一緒に	0 0.0%	2 0.8%	2 1.0%	3 1.3%	1 0.5%	5 2.1%	2 1.0%	3 1.3%
6	ベビーシッターや ホームヘルパーと一緒に	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
7	子どもだけ	2 1.0%	9 3.8%	41 19.8%	28 11.8%	13 6.3%	13 5.5%	3 1.4%	3 1.3%
8	友だちの家	1 0.5%	5 2.1%	15 7.2%	17 7.2%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
9	児童館等 公共施設	0 0.0%	7 3.0%	18 8.7%	32 13.5%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
10	家でひとり	1 0.5%	0 0.0%	15 7.2%	1 0.4%	6 2.9%	5 2.1%	3 1.4%	2 0.8%
11	その他	0 0.0%	3 1.3%	13 6.3%	9 3.8%	6 2.9%	8 3.4%	9 4.3%	6 2.5%
	無回答	6 2.9%	8 3.4%	1 0.5%	7 3.0%	2 1.0%	8 3.4%	1 0.5%	10 4.2%
	計	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%

土曜日

家族と一緒にいることが最も多く、次いで学習塾や習い事に通っている子どもが多いようです。午後になると友だちとの遊び、児童館等公共施設の利用も増えてきます。前回調査と比較すると、学習塾や習い事や児童館等の公共施設の利用割合は増えていますが、家族と過ごす割合、子ども同士の遊びの割合は減少している傾向があります。

土曜日		9時～12時		12時～17時		17時～19時		19時以降	
		高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年
1	学童クラブ	0 0.0%	9 3.8%	0 0.0%	8 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2	学習塾や 習い事	28 13.5%	15 6.3%	34 16.4%	40 16.9%	24 11.6%	6 2.5%	5 2.4%	2 0.8%
3	同居の大人 と一緒に	121 58.5%	147 62.0%	84 40.6%	70 29.5%	153 73.9%	189 79.7%	186 89.9%	206 86.9%
4	別居の親族 や知人と一緒に	3 1.4%	4 1.7%	3 1.4%	12 5.1%	2 1.0%	15 6.3%	3 1.4%	8 3.4%
5	ベビーシッターや ホームヘルパーと一緒に	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6	子どもだけ	16 7.7%	10 4.2%	34 16.4%	23 9.7%	8 3.9%	8 3.4%	1 0.5%	2 0.8%
7	友だちの家	2 1.0%	4 1.7%	10 4.8%	18 7.6%	2 1.0%	4 1.7%	0 0.0%	4 1.7%
8	児童館等 公共施設	6 2.9%	15 6.3%	16 7.7%	34 14.3%	1 0.5%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
9	家でひとり	5 2.4%	1 0.4%	4 1.9%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.4%	1 0.5%	1 0.4%
10	その他	22 10.6%	27 11.4%	20 9.7%	26 11.0%	13 6.3%	6 2.5%	8 3.9%	8 3.4%
	無回答	4 1.9%	5 2.1%	2 1.0%	5 2.1%	3 1.4%	5 2.1%	3 1.4%	6 2.5%
	計	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%

日曜日

同居の家族や別居の家族と過ごす割合が極めて高くなっていますが、学習塾・習い事や子ども同士の遊びも目立ちます。

前回調査と比較して、低学年で「別居の親族や知人と一緒に」の割合が高くなっています。また、「子どもだけ」「友だちの家」の割合は低下している傾向があります。

日曜日		9時～12時		12時～17時		17時～19時		19時以降	
		高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年
1	学習塾や 習い事	25 12.1%	15 6.3%	16 7.7%	14 5.9%	2 1.0%	3 1.3%	1 0.5%	0 0.0%
2	同居の大人 と一緒に	138 66.7%	145 61.2%	118 57.0%	119 50.2%	179 86.5%	177 74.7%	191 92.3%	192 81.0%
3	別居の親族 や知人と一緒に	4 1.9%	26 11.0%	5 2.4%	31 13.1%	4 1.9%	33 13.9%	2 1.0%	30 12.7%
4	ベビーシッターや ホームヘルパーと一緒に	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	2 0.8%
5	子どもだけ	5 2.4%	12 5.1%	29 14.0%	27 11.4%	7 3.4%	2 0.8%	1 0.5%	1 0.4%
6	友だちの家	0 0.0%	3 1.3%	7 3.4%	9 3.8%	1 0.5%	2 0.8%	1 0.5%	0 0.0%
7	児童館等 公共施設	4 1.9%	10 4.2%	9 4.3%	6 2.5%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%

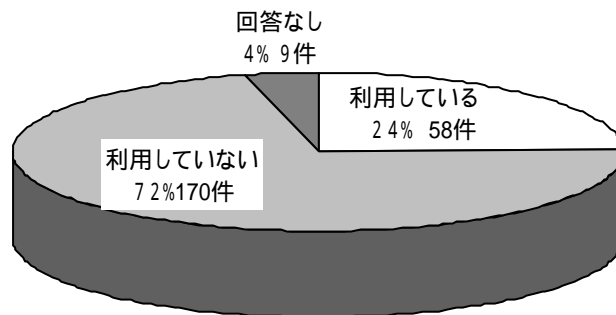
日曜日		9時～12時		12時～17時		17時～19時		19時以降	
		高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年
8	家でひとり	1 0.5%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.4%	1 0.5%	1 0.4%
9	その他	28 13.5%	22 9.3%	20 9.7%	27 11.4%	10 4.8%	9 3.8%	7 3.4%	6 2.5%
	無回答	2 1.0%	4 1.7%	2 1.0%	4 1.7%	3 1.4%	4 1.7%	3 1.4%	5 2.1%
	計	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%	207 100%	237 100%

(4) 学童クラブ

小学校低学年の子どもの保護者に学童クラブの利用について質問をしました。

利用者の割合

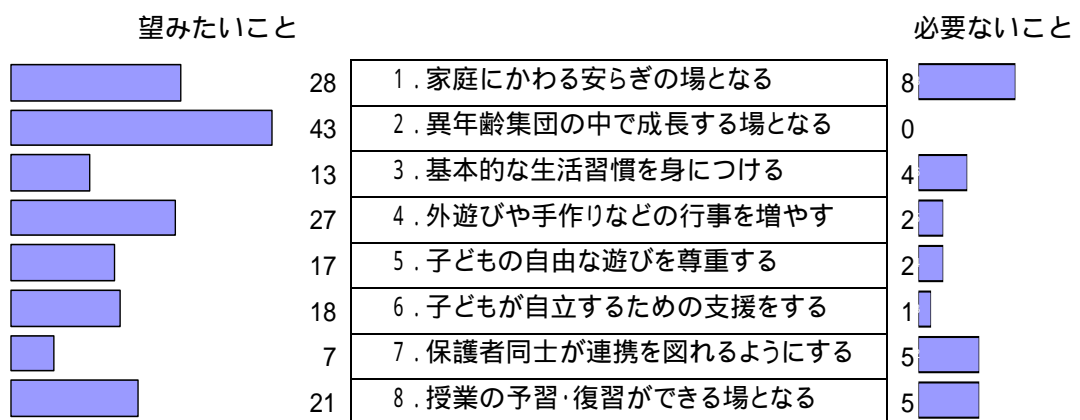
利用していると答えた人は24%でした。



利用者の意見

学童クラブに望むもの

一覧の中から、学童クラブに望む内容を優先順位3番目まで選択していただきました。逆に、必要ないと思われる内容も選択していただきました。選択された要望等は下図のとおりです。

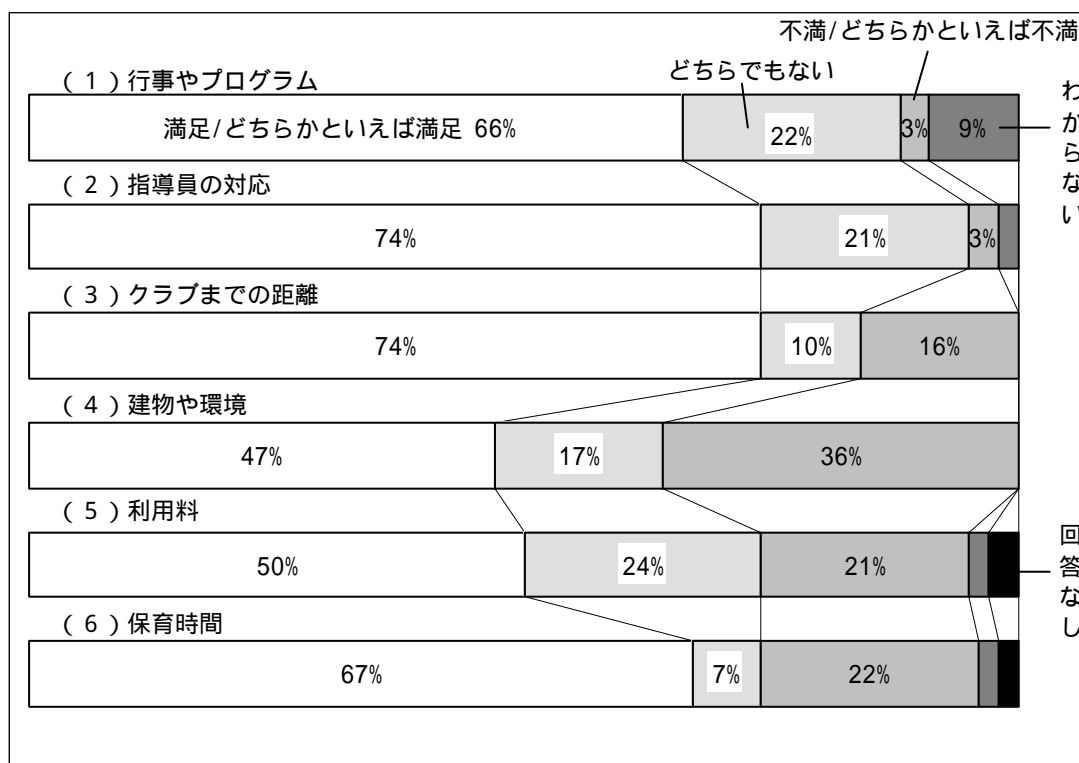


なお、優先度の分布は以下のとおりです。

クラブへの希望					
優先度 1 番		優先度 2 番		優先度 3 番	
2 異年齢集団	21	4 外遊び・手作り	18	8 予習復習	11
1 安らぎの場	20	2 異年齢集団	14	6 自立支援	10
8 予習復習	5	5 自由な遊び	8	2 異年齢集団	8

満足度

主要な事項に関する満足度は以下のとおりです。



希望する利用時間

満足度調査で、保育時間について「不満/どちらかといえば不満」を選択した 22% (13 件) の希望する希望時間は以下のとおりです。なお、学童クラブの運営時間は学校の授業のある日は放課後から 18 時、学校休業日は 9 時から 18 時 (ただし土曜日は 17 時) です。

- ・平日の時間延長希望は 11 件ですが、うち 7 件は 18 時以前でした。残り 4 件が 19 時以内の延長を希望しています。
- ・土曜日の時間延長希望は 9 件でした。開始時間は 7 時からが 1 件、7 時半からが 5 件で、他は 9 時以降でした。終了時間は 17 時までが 5 件、18 時までが 3 件、19 時過ぎまでが 1 件ありました。
- ・学校の長期休業期間の時間延長希望は 13 件でした。開始時間は 8 時からが 2 件、8 時半からが 9 件、9 時からが 2 件でした。終了時間は 17 時までが 3 件、18 時までが 1 件ですが、19 時まで 5 件、19 時以降 4 件となっています。

利用していない理由

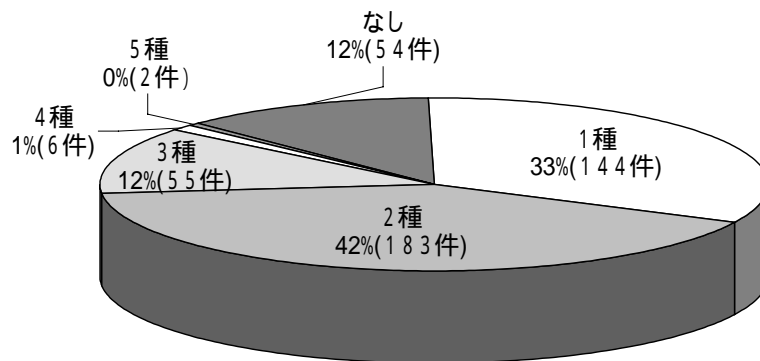
学童クラブを希望していない理由は、「子どもの世話は家庭でできるので必要ない」が77.7%（132件）を占め、「申請したが希望者が多く利用できなかった」「利用していたが子どもの自立で不要になった」「塾や習い事が多くなった」「利用時間が希望と合わない」などが2～3件ずつありました。

なお、その他14.7%（25件）では、「勤務時間が短いため利用条件に合わない（または仕事をしていない）」が7件、「子どもがいやがるため」5件などが主なものでした。

（5）学習塾等

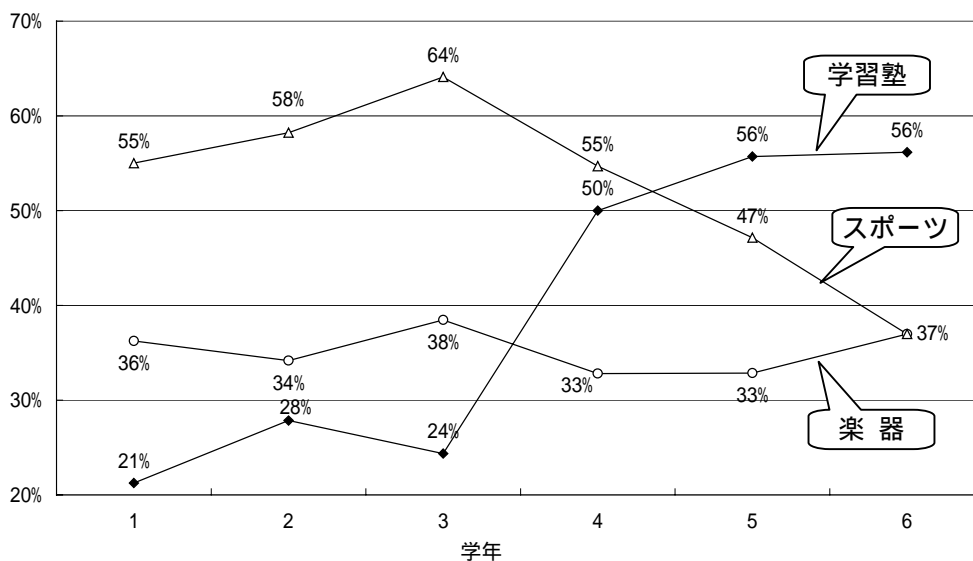
通っている頻度

学習塾や習い事に通っていない子どもは12%（回答なし3件を含む）にとどまり、全体で9割近くの子どものは学習塾・習い事に通い、半数を超える子どもが複数の学習塾・習い事に通っています。なお、通っている学習塾・習い事の数は平均で1.6種（通っている子どもだけでは1.8種）となっています。



種類

通っている割合が高いものはスポーツ53%、学習塾38%、楽器35%、習字10%、舞踏7%ですが、スポーツと学習塾については、低学年と高学年で大きく異なります。



3 12～14歳（子どもの調査票から）

（1）調査概要

調査対象

豊島区内に居住する12～14歳の子ども（昭和62年4月2日～平成2年4月1日に出生した者）の属する世帯を調査対象としました。

調査方法

調査対象世帯の世帯主400人に調査票を郵送する際、子ども用調査票を同封しました。

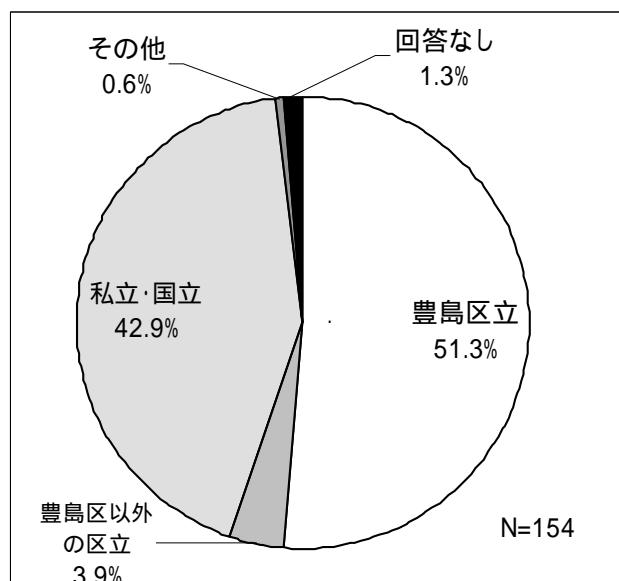
回収率

対象人口の1割程度に調査票を送付し、4割程度の方に回答をいただきました。

	人口	抽出数	回収数	回収率(%)
保護者		400	179	44.8
子ども	4,232	400	154	38.5

通学している学校

子ども回答者では、豊島区立中学校は5割、他の学校が半数近くを占めています。



通学時間の平均は24分ですが、通学している学校により大きく異なります。

	件数	平均通学時間(分)
豊島区立の中学	79	12
豊島区立以外の区立中学	6	18
私立中学校・国立中学校	66	38
その他	1	60
回答なし	2	30
全回答者	154	24

(2) 子どもの生活実態

平日(金曜日)、土曜日、日曜日の別に、時間帯別ごとにどのように過ごしていたかを質問しました。

平日の放課後

17時までは学校にいる割合が高く、15時以降は同居の大人と一緒にあるいはひとりで過ごすとの回答が増え、自宅で過ごす割合が高くなります。19時以降に学習塾や習い事に通っている割合が15.6%と際立って高くなっています。

金曜日		13時～15時	15時～17時	17時～19時	19時以降
1	学校	117 76.0%	62 40.3%	24 15.6%	1 0.6%
2	学習塾や 習い事	0 0.0%	0 0.0%	9 5.8%	24 15.6%
3	同居の大人 と一緒に	12 7.8%	28 18.2%	58 37.7%	91 59.1%
4	別居の親族 や知人と一緒に	0 0.0%	3 1.9%	3 1.9%	0 0.0%
5	子どもだけ	2 1.3%	13 8.4%	15 9.7%	7 4.5%
6	友だちの家	1 0.6%	9 5.8%	7 4.5%	2 1.3%
7	児童館等 公共施設	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%
8	家でひとり	12 7.8%	19 12.3%	13 8.4%	8 5.2%
9	その他	3 1.9%	12 7.8%	18 11.7%	14 9.1%
	無回答	6 3.9%	7 4.5%	6 3.9%	6 3.9%
	計	154 100%	154 100%	154 100%	154 100%

土曜日

家族と一緒にいる割合が最も高くなっていますが、学校週5日制を採用していない私立学校の影響で、17時までは学校で過ごす割合も高くなっています。午後は友だちとの交流も多くなります。

土曜日		9時～12時	12時～17時	17時～19時	19時以降
1	学校	48 31.2%	20 13.0%	2 1.3%	2 1.3%
2	学習塾や 習い事	7 4.5%	15 9.7%	10 6.5%	5 3.2%
3	同居の大人 と一緒に	60 39.0%	55 35.7%	85 55.2%	112 72.7%
4	別居の親族 や知人と一緒に	0 0.0%	5 3.2%	5 3.2%	3 1.9%
5	子どもだけ	7 4.5%	28 18.2%	22 14.3%	8 5.2%

土曜日		9時～12時	12時～17時	17時～19時	19時以降
6	友だちの家	1 0.6%	6 3.9%	4 2.6%	1 0.6%
7	児童館等 公共施設	3 1.9%	2 1.3%	1 0.6%	1 0.6%
8	家でひとり	16 10.4%	11 7.1%	12 7.8%	12 7.8%
9	その他	10 6.5%	10 6.5%	11 7.1%	8 5.2%
	無回答	2 1.3%	2 1.3%	2 1.3%	2 1.3%
	計	154 100%	154 100%	154 100%	154 100%

日曜日

家族と一緒にいる割合が最も高くなっています。午後になると友だちとの交流も多くなります。全般的に「その他」の割合が高くなっています（この調査からは内容を特定できません）。

日曜日		9時～12時	12時～17時	17時～19時	19時以降
1	学校	6 3.9%	5 3.2%	4 2.6%	1 0.6%
2	学習塾や 習い事	6 3.9%	5 3.2%	5 3.2%	1 0.6%
3	同居の大人 と一緒に	82 53.2%	77 50.0%	98 63.6%	121 78.6%
4	別居の親族 や知人と一緒に	2 1.3%	3 1.9%	2 1.3%	0 0.0%
5	子どもだけ	14 9.1%	26 16.9%	13 8.4%	8 5.2%
6	友だちの家	1 0.6%	3 1.9%	3 1.9%	0 0.0%
7	児童館等 公共施設	6 3.9%	6 3.9%	1 0.6%	0 0.0%
8	家でひとり	13 8.4%	9 5.8%	9 5.8%	11 7.1%
9	その他	22 14.3%	18 11.7%	17 11.0%	10 6.5%
	無回答	2 1.3%	2 1.3%	2 1.3%	2 1.3%
	計	154 100%	154 100%	154 100%	154 100%

(3) 中学生・高校生のための施設への意見

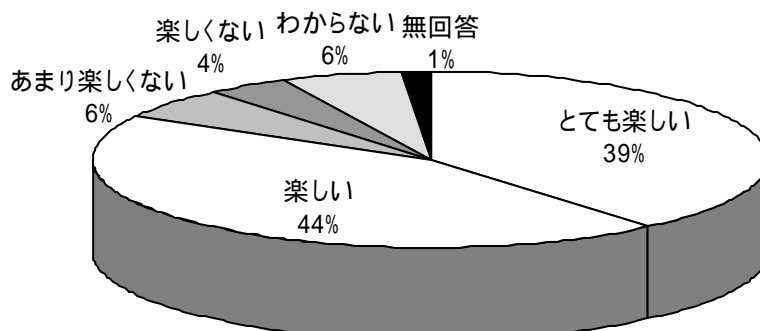
中学生や高校生のための施設を作るとしたら、どのような内容が必要か、代表的な機能に付いて必要度を聞きました。必要だとの回答の割合が比較的高かったのは、「気軽に運動ができる場所」や「のんびりできる場所、特に理由がなくても居られる場所」でした。

(1)ボランティア活動をするための情報や機会の提供			
必要	必要ない	どちらでもない	わからない
36.4%	15.6%	35.1%	13.0%
(2)のんびりできる場所、特に理由がなくても居られる場所			
71.4%	9.7%	13.0%	0.0%
(3)友だちとおしゃべりやグループ活動をする場所			
57.1%	14.3%	22.1%	5.2%
(4)気軽に運動ができる場所			
74.0%	6.5%	14.9%	4.5%
(5)静かに勉強できる場所			
40.9%	22.7%	26.0%	10.4%
(6)音楽活動のためのスタジオ			
31.8%	30.5%	30.5%	7.1%
(7)工作や手芸、料理などの趣味の活動ができる場所			
35.1%	22.7%	31.8%	10.4%

(4) 学校生活

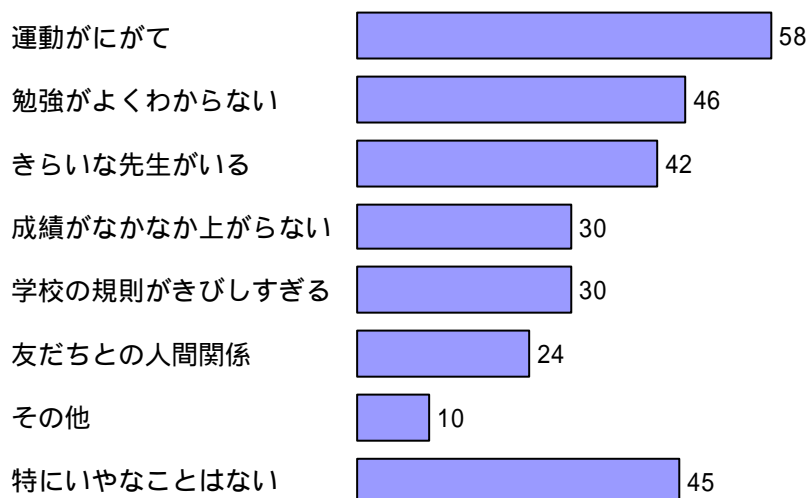
学校生活は楽しいか

「とても楽しい」「楽しい」の合計が83%、「楽しくない」「あまり楽しくない」の合計が10%でした。



学校でいやなこと

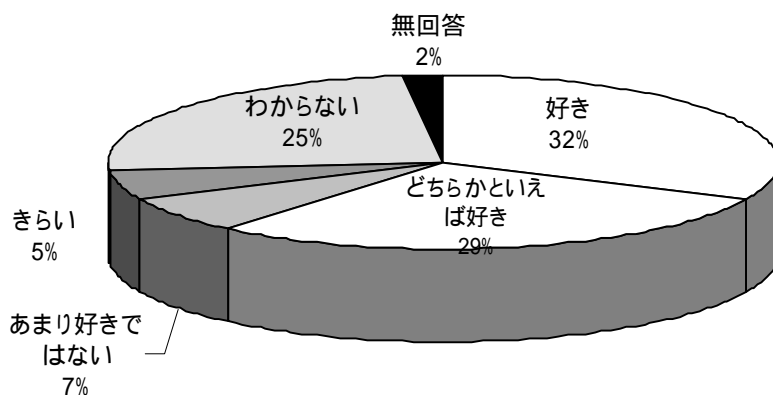
学校でいやなことをリストから選択してもらいました（複数回答可）。「とくにいやなことはない」との回答は全体の3割でした。



(5) 豊島区の印象

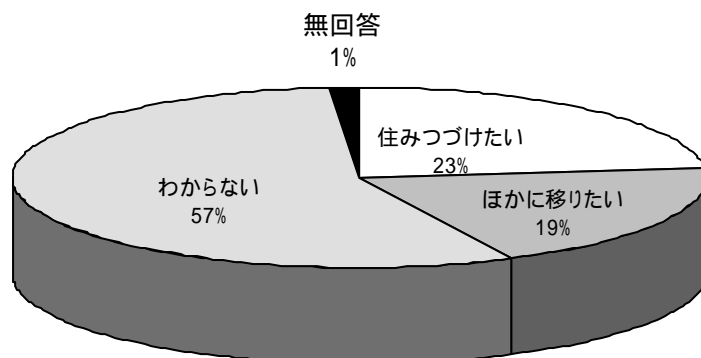
豊島区を好きか

豊島区を「好き」「どちらかといえば好き」の合計は61%、「きれい」「あまり好きではない」の合計は12%でした。



豊島区に住みつづけたいか

大人になっても豊島区に「住みつづけたい」が23%、「ほかに移りたい」が19%でしたが、大半は「わからない」との回答でした。



4 15～17歳（子どもの調査票から）

（1）調査概要

調査対象

豊島区内に居住する15～17歳の子ども（昭和59年4月2日～昭和62年4月1日に出生した者）の属する世帯を調査対象としました。

調査方法

調査対象世帯の世帯主400人に調査票を郵送する際、子ども用調査票を同封しました。

回収率

	人口	抽出数	回収数	回収率(%)
保護者		400	164	41.0
子ども	4,816	400	144	36.0

就学・就労状況

高校生92.4%(133件)、専門学校生1.4%(2件)、その他4.9%(7件)、回答なし1.4%(2件)で、「就労している」との回答はありませんでした。「その他」の内容はフリーター、予備校生などでした。

(2) 子どもの生活実態

平日(金曜日)、土曜日、日曜日の別に、時間帯別ごとにどのように過ごしていたかを質問しました。

平日の放課後

17時までは学校にいる割合が高く、17時以降は家族と過ごす割合が高くなります。一般的に自宅でひとりで過ごす割合も高いですが、15時～17時で友だちと過ごす割合も高くなります。

金曜日		13時～15時	15時～17時	17時～19時	19時以降
1	学校	88 61.1%	59 41.0%	7 4.9%	1 0.7%
2	学習塾・予備校 習い事	2 1.4%	3 2.1%	12 8.3%	8 5.6%
3	仕事・バイト	5 3.5%	6 4.2%	11 7.6%	10 6.9%
4	同居の親族	10 6.9%	12 8.3%	54 37.5%	73 50.7%
5	別居の親族 や知人と一緒	0 0.0%	2 1.4%	2 1.4%	1 0.7%
6	友だちと	5 3.5%	20 13.9%	16 11.1%	10 6.9%
7	児童館等 公共施設	0 0.0%	1 0.7%	3 2.1%	2 1.4%
8	家でひとり	19 13.2%	23 16.0%	20 13.9%	20 13.9%
9	その他	5 3.5%	8 5.6%	10 6.9%	10 6.9%
	無回答	10 6.9%	10 6.9%	9 6.3%	9 6.3%
	計	144 100%	144 100%	144 100%	144 100%

土曜日

家族と一緒にいる割合が最も高くなっていますが、学校5日制を採用して学校5日制を採用していない私立学校の影響か、17時までは学校で過ごす割合も高くなっています。午後以降は友だちとの交流も多くなりますが、家でひとりで過ごす割合も一定の比率を占めています。

土曜日		9時～12時	12時～17時	17時～19時	19時以降
1	学校	41 28.5%	23 16.0%	3 2.1%	1 0.7%
2	学習塾・予備校 習い事	2 1.4%	7 4.9%	8 5.6%	2 1.4%
3	仕事・バイト	3 2.1%	7 4.9%	11 7.6%	10 6.9%

土曜日		9時～12時	12時～17時	17時～19時	19時以降
4	同居の親族	43 29.9%	44 30.6%	60 41.7%	75 52.1%
5	別居の親族 や知人と一緒	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.4%
6	友だちと	3 2.1%	19 13.2%	18 12.5%	17 11.8%
7	児童館等 公共施設	1 0.7%	5 3.5%	2 1.4%	1 0.7%
8	家でひとり	25 17.4%	17 11.8%	20 13.9%	18 12.5%
9	その他	16 11.1%	12 8.3%	12 8.3%	9 6.3%
	無回答	9 6.3%	9 6.3%	9 6.3%	9 6.3%
	計	144 100%	144 100%	144 100%	144 100%

日曜日

家族と一緒にいる割合が最も高くなっています。午後になると友だちとの交流も多くなりますが、家でひとりで過ごす割合も一定の比率を占めています。

全般的に「その他」の割合が高くなっていますが、この調査からは内容を特定できません。

日曜日		9時～12時	12時～17時	17時～19時	19時以降
1	学校	6 4.2%	6 4.2%	2 1.4%	0 0.0%
2	学習塾・予備校 習い事	2 1.4%	3 2.1%	2 1.4%	1 0.7%
3	仕事・バイト	4 2.8%	7 4.9%	12 8.3%	9 6.3%
4	同居の親族	61 42.4%	44 30.6%	69 47.9%	80 55.6%
5	別居の親族 や知人と一緒	2 1.4%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%
6	友だちと	10 6.9%	25 17.4%	14 9.7%	7 4.9%
7	児童館等 公共施設	3 2.1%	5 3.5%	1 0.7%	2 1.4%
8	家でひとり	23 16.0%	22 15.3%	20 13.9%	21 14.6%
9	その他	24 16.7%	22 15.3%	14 9.7%	14 9.7%
	無回答	9 6.3%	9 6.3%	9 6.3%	9 6.3%
	計	144 100%	144 100%	144 100%	144 100%

(3) 中学生・高校生のための施設への意見

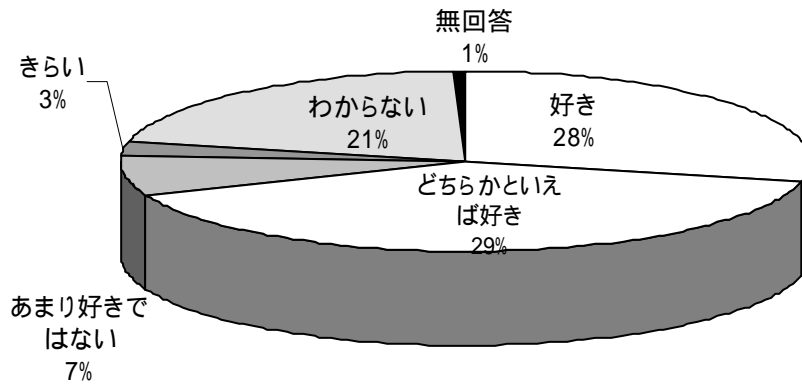
中学生や高校生のための施設を作るとしたら、どのような内容が必要か、代表的な機能について必要度を聞きました。必要だとの回答の割合が比較的高かったのは、「気軽に運動ができる場所」や「のんびりできる場所、特に理由がなくても居られる場所」でした。

(1) ボランティア活動をするための情報や機会の提供				回答なし
必要 38.2%	必要ない 10.4%	どちらでもない 31.3%	わからない 16.7%	
(2) のんびりできる場所、特に理由がなくても居られる場所				2.8%
66.7%	9.0%	20.1%		
(3) 友達とおしゃべりやグループ活動をする場所				5.2%
59.0%	11.1%	24.3%		
(4) 気軽に運動ができる場所				4.5%
82.6%	5.6%	7.6%		
(5) 静かに勉強できる場所				5.6%
58.3%	12.5%	22.2%		
(6) 音楽活動のためのスタジオ				
38.9%	20.8%	29.2%	9.7%	
(7) 工作や手芸、料理などの趣味の活動ができる場所				
38.2%	9.0%	42.4%	8.3%	

(4) 豊島区の印象

豊島区を好きか

豊島区を「好き」「どちらかといえば好き」の合計は57%、「きれい」「あまり好きではない」の合計は10%でした。



豊島区に住みつづけたいか

大人になっても豊島区に「住みつづけたい」が29%、「ほかに移りたい」が18%でしたが、大半は「わからない」との回答でした。

